

新たな市民会館のあり方検討事業
報告書

令和6年4月

小 山 市

目次

第1章 基礎調査	3
1 基礎調査の時点更新.....	3
(1) 上位・関連計画の整理.....	3
(2) 現中央市民会館の現状調査.....	9
(3) 利用状況調査.....	14
2 利用者意向の把握.....	21
(1) SNS アンケート調査.....	21
(2) 文化団体アンケート調査.....	48
(3) ヒアリング調査.....	61
(4) 市民ワークショップ.....	78
(5) オープンハウス.....	86
3 現中央市民会館の課題の整理.....	88
(1) 上位計画との関連.....	88
(2) 現状調査及び運営者ヒアリングの結果.....	88
(3) 利用状況調査および利用者意向の整理.....	93
第2章 導入機能及び規模の検討	94
1 現中央市民会館の機能及び規模の検討.....	94
2 新たに付加する機能及び規模の検討.....	94
3 民間施設についての検討.....	95
4 新たな市民会館の機能連携イメージ.....	95
第3章 事業化に向けた検討	96
1 想定される事業手法.....	96
(1) 従来手法と官民連携手法.....	96
(2) 整備手法.....	96
(3) 整備手法ごとの主な事例.....	97
2 事業手法ごとの課題整理.....	98
第4章 今後の検討に向けて	99

第1章 基礎調査

1 基礎調査の時点更新

(1) 上位・関連計画の整理

1) 国の上位計画

平成13(2001)年12月に「文化芸術振興基本法」が制定され、文化芸術固有の意義と価値を認めただけで、文化芸術は創造性を育む力、多様性を受け入れる力によって心豊かな社会を形成する存在であるとした。この法の改正という形で平成29(2017)年6月に「文化芸術基本法」が制定され、文化芸術そのものの振興に加え、観光、まちづくり、国際交流、福祉、教育、産業その他の関連分野における施策との有機的な連携を図ることが新たに求められた。さらに、文化芸術基本法に基づく文化芸術施策の総合的かつ計画的な推進を目的として、国は「文化芸術推進基本計画」を策定しており、令和5年度からは第2期計画の対象期間となっている。

劇場に関する法整備としては、旧法である「文化芸術振興基本法」に基づいて平成24(2012)年に「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」が施行された。劇場、音楽堂等の公共財ともいふべき役割を明らかにし、社会、地域における役割を実現するために長期的、継続的な施策を講ずることを求めている。

① 文化芸術基本法(平成29(2017)年6月)

文化芸術に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図り、心豊かな国民生活や活力ある社会の実現に貢献することを目的としている。改正にあたり、文化芸術の振興に加え、文化芸術だけでなく、関連する分野の施策も組み込まれ、文化芸術により生み出される様々な価値を、文化芸術の更なる継承・発展・創造に結びつけていく重要性を明らかにしている。

② 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律(平成24(2012)年6月)

劇場、音楽堂等は、文化芸術を継承し、創造し、および発信する場であり、人々が集い、人々に感動と希望をもたらし、人々の創造性を育み、人々が共に生きる絆を形成するための地域の文化拠点である。現代社会においては、人々の共感と参加を得ることにより「新しい広場」として、地域コミュニティの創造と再生を通じて、地域の発展を支える機能も期待されている。

③ 文化芸術推進基本計画（第2期）（令和5（2024）年3月）

平成30(2018)年に策定された文化芸術基本推進計画(第1期)に基づき、文化芸術の多様な価値を活用・好循環させ、文化芸術立国を実現することを目指し、取組が進められてきた。

第2期推進基本計画では、文化芸術政策を取り巻く状況の変化を踏まえ、第1期推進基本計画における成果と課題を勘案したうえで、4つの中長期目標(今後の文化芸術政策の目指すべき姿)を見直している。

目標1 文化芸術の創造・発展・継承 と教育・参加機会の提供	文化芸術の創造・発展、次世代への継承が確実に行われ、全ての人々に充実した文化芸術教育と文化芸術活動の参加機会が提供されていることを目指す。
目標2 創造的で活力ある社会の 形成	文化芸術に効果的な投資が行われ、イノベーションが生まれるとともに、文化芸術の国際交流・発信を通じて国家ブランドの形成に貢献し、創造的で活力ある社会が形成されていることを目指す。
目標3 心豊かで多様性のある 社会の形成	あらゆる人々が文化芸術を通して社会に参画し相互理解が広がり、多様な価値観が尊重され、心豊かな社会が形成されていることを目指す。
目標4 持続可能で回復力のある 地域における 文化コミュニティの形成	地域の文化芸術を推進するためのプラットフォームが全国各地に形成され、多様な人材や文化芸術団体・諸機関が連携・協働し、持続可能で回復力のある地域文化コミュニティが形成されていることを目指す。

④ 障害者による文化芸術活動の推進に関する法律(平成30(2018)年6月)

文化芸術が、これを創造し享受する者の障害の有無に関わらず、心の豊かさや相互理解をもたらすものであることを鑑み、また、文化芸術基本法や障害者基本法の基本的な理念に則り、障害者による文化芸術活動を総合的かつ計画的に推進し、文化芸術活動を通じた障害者の個性と能力の発揮及び社会参加の促進を図ることを目的としている。

障害者による文化芸術活動の推進に関する施策を講ずるにあたって、障害者による文化芸術活動を特に対象とする措置が講じられ、文化芸術の振興に関する一般的な措置の実施における特別の配慮が行われなければならないとしている。

2) 市の上位・関連計画

文化センター等整備基本構想策定業務において以下のとおり市の上位計画が整理されています。

計画期間	概要
第7次小山市総合計画	
基本構想:平成 28(2016)年度～ 令和 2(2020)年度 基本計画:平成 28(2016)年度～ 令和 2(2020)年度 実施計画:毎年度ローリング (計画期間は2年)	将来都市像として「夢・魅力いっぱい未来へつなぐ ーみんなの笑顔と元気で明日の小山創生ー」が掲げ られている。 土地利用構想において、JR 小山駅周辺を市の中心 市街地として、商業の活性化を図るとされている。 その他、総合計画における小山駅周辺地区の位置 づけ(施策・事業)、総合計画における小山駅周辺地 区に係る重点プロジェクトが定められている。
小山市都市計画マスタープラン(平成 17(2015)年 1 月)	
基準年次:平成 12(2000)年 目標年次:令和 2(2020)年	小山中央地域においては、中心商業・業務地とし て、商業・業務機能の強化と交流・文化機能の充実、 中高層住宅の立地等による都心居住の誘導、小山駅 東口周辺整備の推進等が位置付けられている。
小山栃木都市計画・都市計画区域マスタープラン(平成 28(2016)年 3 月)	
目標年次:平成 42(2030)年 平成 32(2020)年	都市づくりの基本理念として、「暮らしやすくコンパク トな都市づくり」が掲げられている。 小山駅周辺地区は、広域拠点地区として。都市機能 や人口の集積と、高度で複合的な土地利用が位置付 けられている。
中心市街地活性化基本計画(平成 13(2001)年 3 月)	
	小山駅周辺地区に関連する中心市街地活性化の実 現方策として、都心居住の推進、官民連携による施設 整備、JR 貨物用地等有効活用事業が位置付けられて いる。

立地適正化計画(令和2(2020)年1月)計画当時パブコメ実施済み時点		
	令和2(2020)年～ 令和22(2040)年までの20年	まちづくりの方針として、「①街なかへの居住と都市機能の誘導」「②移住・定住人口増加に向けた快適な住環境の形成」「③公共交通ネットワークの充実」が掲げられている。 また、小山駅周辺地域は、市の中心拠点として居住誘導区域及び都市機能誘導区域に指定されており、文化ホールを小山駅周辺に立地すべき施設であるとしている。
小山駅東口周辺土地利用基本構想(平成26(2014)年3月)		
		構想重点検討ゾーンの土地利用基本構想において、「商業・文化交流・公共公益・業務機能複合街区」と「住宅＋生活支援機能複合街区」が位置付けられている。
小山駅周辺地区土地利用推進計画(平成31(2019)年3月)		
		小山駅周辺地区における土地利用のコンセプト、目指す姿等が整理されている。 構想重点検討ゾーンにおける施設配置イメージが検討されている。
小山市公共施設等マネジメント推進計画 -小山市公共施設等再配置計画- (平成30(2018)年1月)		
	第1期:～2025 第2期:2026～2035 第3期:2036～2045 第4期:2046～2055	基本方針において、「総量縮減」「効率的利活用」「長寿命化」が挙げられている。 小山市立文化センター及び小山市立中央公民館は、耐震補強及びPFIによる建替えの両面から検討し、規模の適正化や他施設との複合化を図るとされている。
第2次小山市文化芸術振興ビジョン(平成29(2017)年3月)		
	平成29(2017)年～ 令和3(2021)年(5カ年)	基本理念として、「心豊かで活気のあるくらいやすい「文化都市小山」」が掲げられている。 施策の方向性のうち、「ささえる」に、文化センター、公民館等の充実、活用が含まれる。

令和 2(2020)年3月以降、策定された上位・関連計画を以下のとおりです。

① 第8次小山市総合計画(令和3(2021)3月)

多様化する市民の価値観やニーズを的確に捉えるとともに、「Society5.0」、「国土強靱化」、「新しい生活様式の定着」等の新たな視点を踏まえながら「SDGs(持続可能な開発目標)」との一体化に取り組み、社会経済情勢の変化に対応した持続可能なまちづくりを進めるための指針として策定された。

計画期間	概要
基本構想: 平成 3(2021)年度 ～令和 7(2025)年度	小山市におけるまちづくりの基本理念と将来都市像、必要なまちづくりの目標と、その施策の大綱を定めている。 ●まちづくりの基本理念 「市民との対話と連携・協働による「田園都市 小山」を未来につなぐ持続可能なまちづくり」 「市民とともに進める 支え合い認め合う ひと・行政づくり」 「魅力ある地域資源を生かした 住み続けたい まちづくり」 「豊かな自然との共生と安全で安心できる 暮らしづくり」 ●将来都市像 「「ひと」「まち」「暮らし」がいきいき 未来へつながる おやま」
基本計画: 平成 3(2021)年度 ～令和 7(2025)年度	基本構想を実現するために必要な施策と主要事業などを具体的な分野別計画として示している。
実施計画: 毎年度ローリング (計画期間は 2 年)	基本計画に示された諸施策を実行するための具体的な事業を定めている。

② 小山市文化芸術振興計画(第 3 期)(令和 4(2022)年8月)

文化振興に関する計画としては第3次となる「小山市文化芸術振興計画」を策定した。今後、市民の主体的な文化芸術活動を促進し、豊かで活力のある多様な文化の創造を目指し、小山市の文化芸術の振興を図ることを計画の目的としている。

計画期間	概要
令和 4(2022)年～ 令和 8(2026)年(5カ年)	基本理念として「心豊かで活気のある暮らしやすい「文化都市小山」」が掲げられている。 基本理念を実現するための具体的な施策として文化センターの自主事業の拡大、中央市民会館の整備が含まれる。

③ 第2次小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2(2020)年3月)

「小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」策定以降進められてきた地方創生のより一層の充実・強化に取り組むため、「第2次小山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定した。小山市に住み、働き、豊かな生活を送りたいと願う市民を増やし、その希望を叶えることができる地域社会の実現を目指している。

計画期間	概要
令和2(2020)年度～ 令和6(2024)年度(5カ年)	基本理念として小山の次代を担う心豊かな「未来へつながるひとを創る」、若者や女性をはじめとする市民の快適な生活を支える、住みたい・住み続けたい「未来へつながるまちを創る」、豊かな人のつながりと健康で生きがいのある安全・安心な「未来へつながるくらしを創る」の3つの柱が掲げられている。

④ 第3次小山市生涯学習推進計画(令和4(2022)年4月)

「第2次小山市生涯学習推進計画」策定以降変化した社会環境に対応するため新たに「第3次小山市生涯学習推進計画」を策定した。これまでの取組による成果や課題を振り返り事業の見直しを行い、誰もが学びたい時に学べるよう支援していくとともに、学んだことを地域社会で活かす活動を進めるための指針としている。

計画期間	概要
令和4年(2022)年度～ 令和8年(2026)年度 (5カ年)	目指す市民のすがたとして「いきいきと学び、積極的につながり主体的にまちづくりに参画する市民」が、基本理念として「学んで育む”ひと・まち・絆”」が掲げられている。

⑤ PLANNOYAMA(令和5(2023)年5月)

「民間と行政が共有する小山駅周辺エリアの長期ビジョンを示し、“自分ごと”としてまちづくりに取り組むための指針とすること」を目的とし、小山市制100周年となる2054年までのまちづくりビジョンとして作成された。

プランのエリアは「小山市立地適正化計画」で設定されている“都市機能誘導区域”を基とした、駅を中心に半径1kmの範囲を対象とされている。

計画期間	概要
令和5年(2023)年度～ 令和36年(2054)年度	エリアのコンセプトを「大人が遊び、子どもが育つ。」とし、「大人たちが自分らしく働き、遊ぶことができ、子どもたちが伸び伸びと遊び、学べ、成長できる町」を目指している。

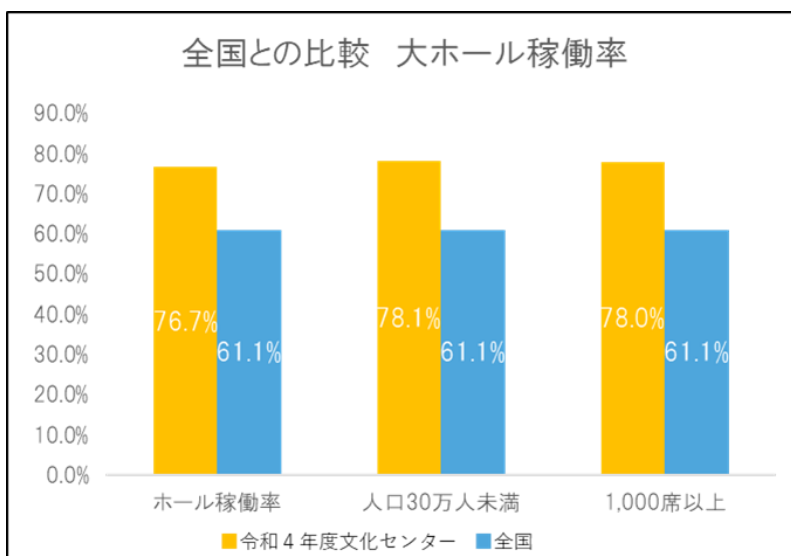
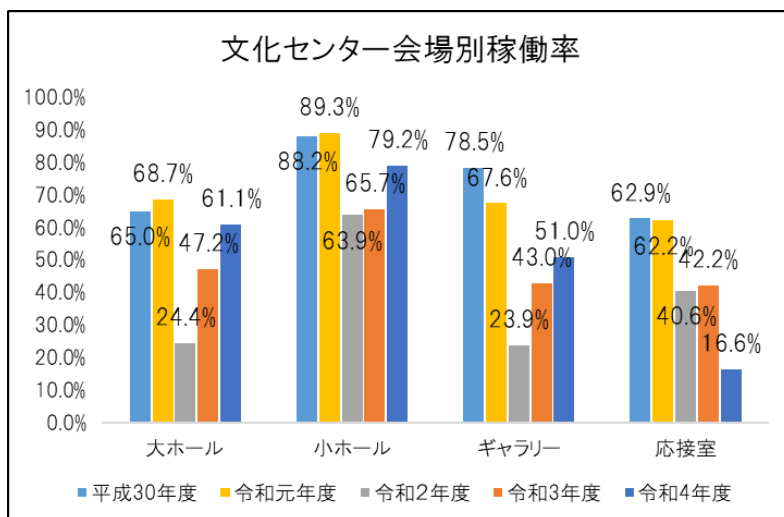
(2) 現中央市民会館の現状調査

1) 運営者ヒアリング … 省略

(3) 利用状況調査

1) 稼働率

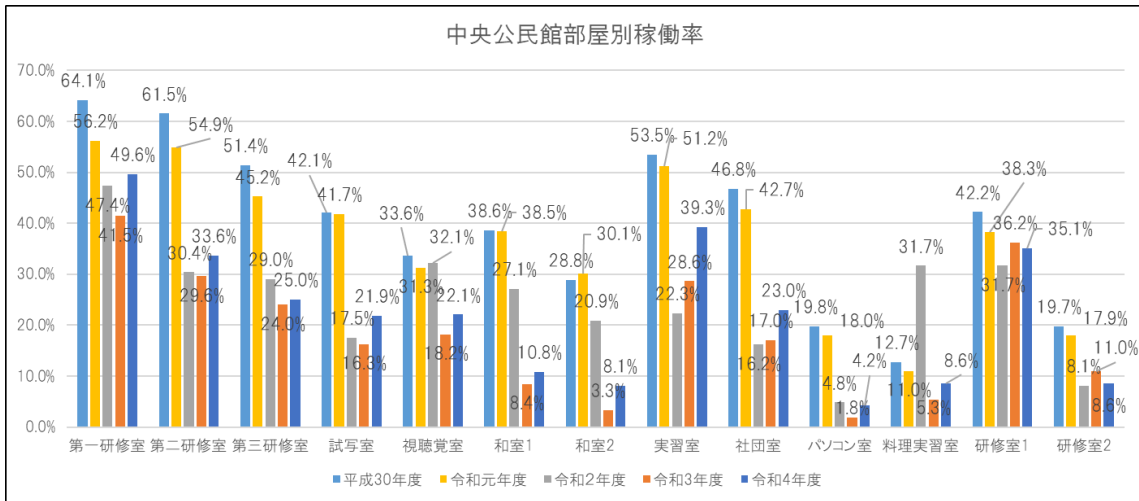
文化センターは、新型コロナの影響が考えられる令和 2～3 年度に稼働率が減少しているものの、令和 4 年度の稼働率は回復傾向にある。大ホール稼働率は全国平均を下回っている。



※全国稼働率平均参考

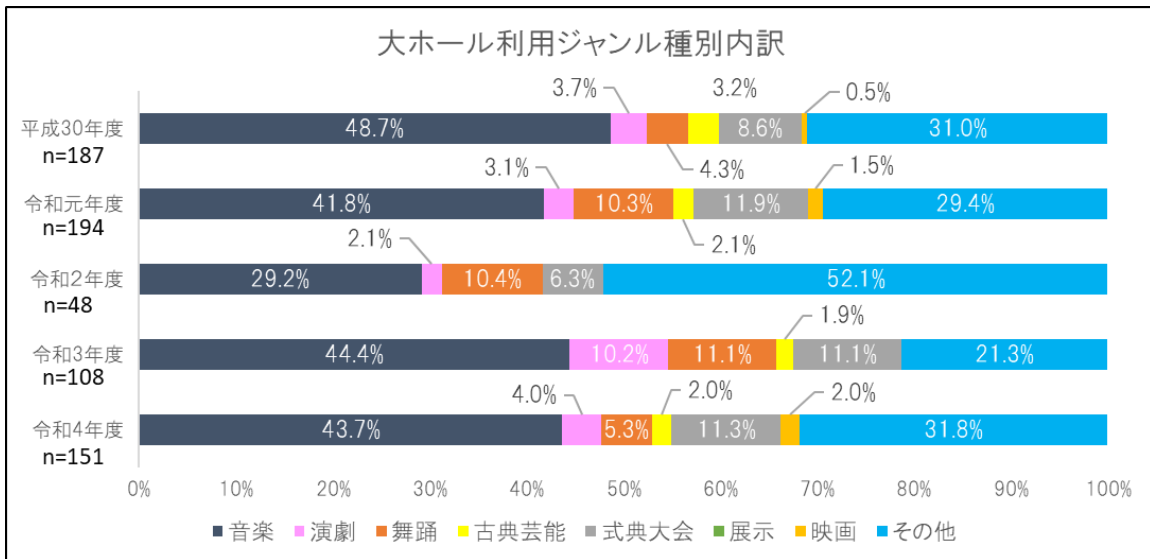
(公社)全国公立文化施設協会「令和4年度劇場・音楽堂等の活動状況に関する調査報告書」

一方、中央公民館及び小野塚イツ子記念館は、新型コロナの影響に伴う稼働率の減少からの回復傾向は鈍い。

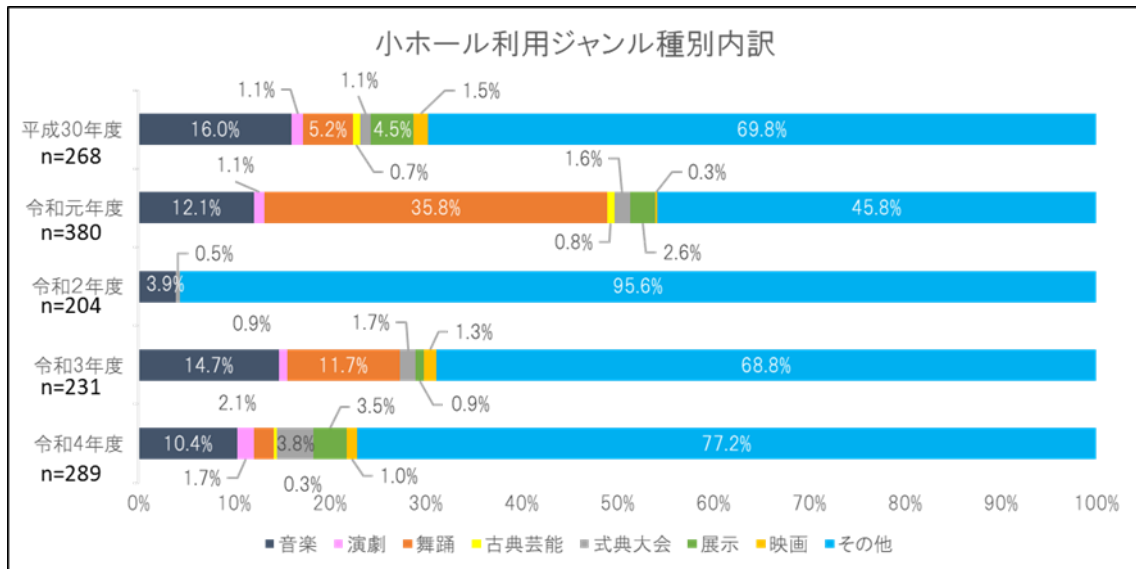


2) 利用ジャンル(文化センター)

大ホールは音楽利用が半数程度を占めており、式典も一定の利用がある。

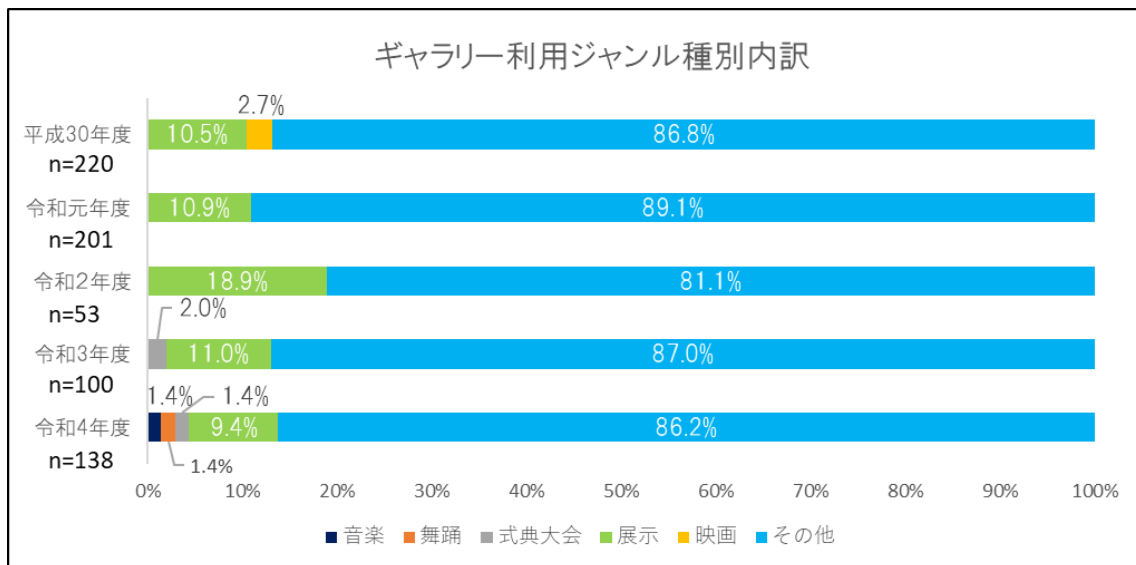


小ホールは令和元年度のみ舞踊の割合が高いが、それ以外は「その他」利用が大半を占めている。小ホールの「その他」の内訳は体操・スポーツ(プロレスなど)・企業の展示会・研修会・ワークショップ等となっている。



ギャラリーは、本来主用途である展示利用は1割程度となっている。

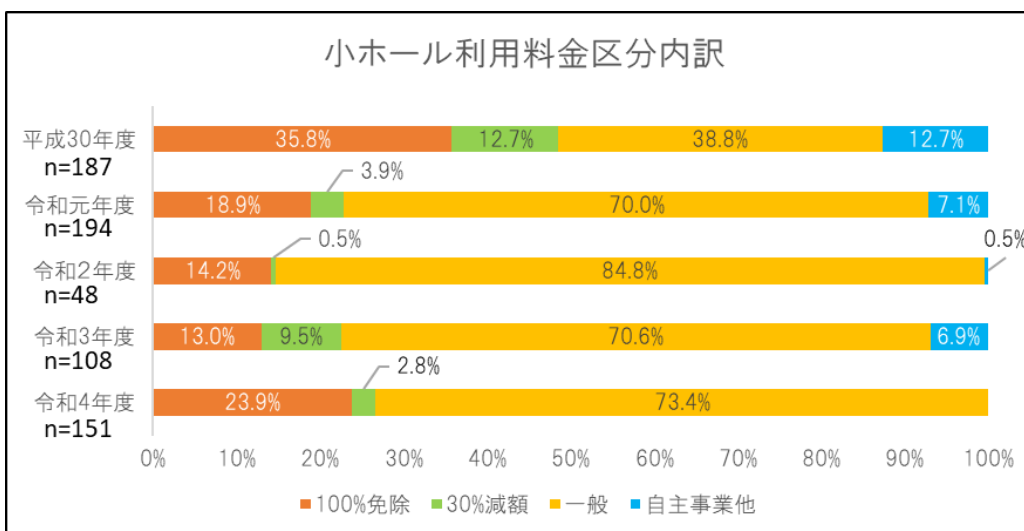
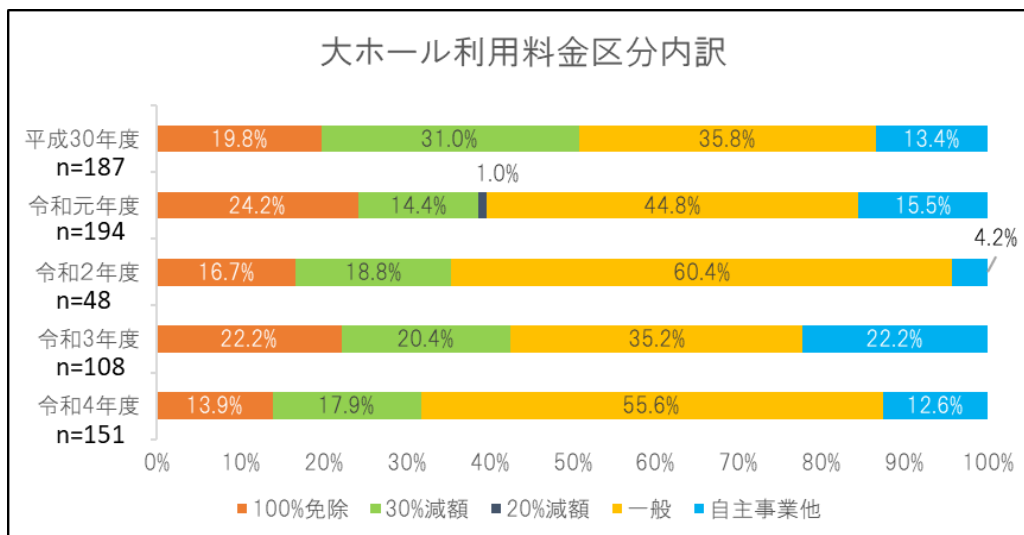
9割近くを占める「その他」の内訳は、企業の会議、研修会、面接会、展示会・婚活パーティ等となり、平土間スペースとしての多目的利用が主となっている。

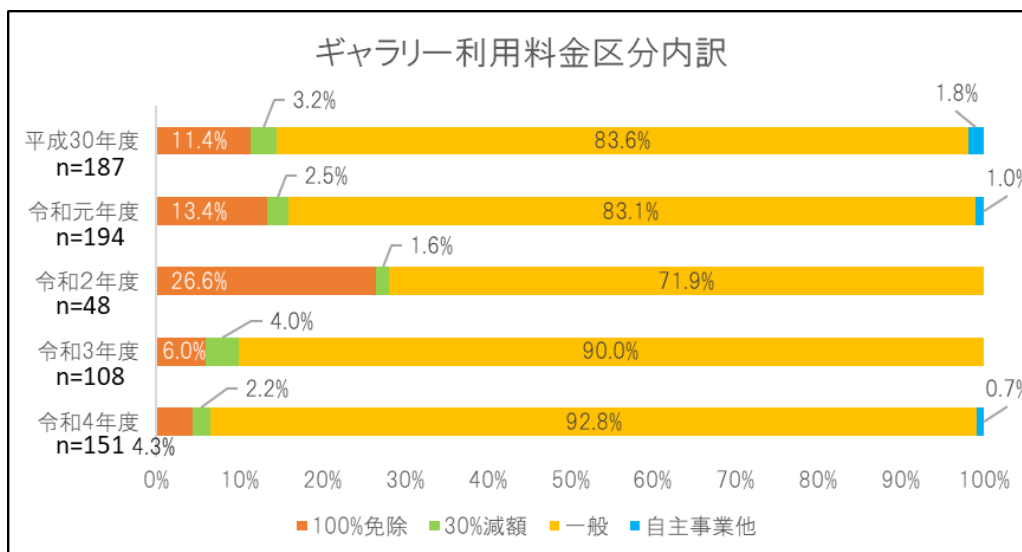


3) 利用料金区分

大ホールは減額のある利用が 3～5 割程度となっており、市の主催事業である 100%免除と、「官公署・学校・社会教育団体・社会福祉団体等の利用」である 30%減額がおよそ半々となっている。「その他特別な理由がある場合」の 20%減額はほとんどない。

小ホールは、平成30年度を除き、一般利用が 7～8 割を占め、減額利用は少ない。ギャラリーも一般利用の割合が大きく、5 年間をとおして約 7～9 割程度となっている。





4) 自主事業の実施状況

各年度の自主事業について、事業形態については、それぞれ以下の分類に整理し、傾向を分析した。

【事業形態】

分類	内容
鑑賞	舞台芸術の鑑賞機会を提供することを目的とした事業
参加交流	文化芸術に親しんでもらうことを目的とした普及啓発や文化芸術に関わる人材養成事業
普及育成	市民自ら出演する等市民主体の参加事業

① 自主事業の事業形態(大ホール)

大ホールは、令和2年度を除き、一貫して鑑賞事業が中心となっている。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
鑑賞	9件	13件	2件	7件	17件
参加交流	5件	4件	4件	1件	6件
普及育成	2件	2件	0件	3件	4件
合計	16件	19件	6件	11件	27件

② 自主事業のジャンル(大ホール)

「クラシック音楽」から「ピアノ」、「声楽・合唱」、「その他音楽」(ポップス等)、「吹奏楽」まで音楽関係のジャンルが多く実施されている。

比較的開催件数の多い「その他音楽」は、著名人によるコンサートや親子向けのコンサートが多い。

また、「演芸・演劇」は主にお笑いや落語、狂言、講談、朗読劇で、コロナ禍を除き毎年一定数開催されている。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度
クラシック音楽	2件	3件	2件	2件	3件
ピアノ	2件	3件	1件	2件	4件
声楽・合唱	0件	0件	0件	0件	0件
その他音楽	3件	4件	1件	2件	12件
吹奏楽	1件	1件	0件	0件	1件
演芸・演劇	4件	5件	0件	3件	4件
会議・講習	0件	0件	0件	1件	1件
舞踊	0件	0件	0件	0件	0件
軽運動	0件	0件	0件	0件	0件
料理	0件	0件	0件	0件	0件
美術	0件	0件	0件	0件	0件
フェスティバル	0件	0件	0件	0件	0件

その他	2件	2件	1件	1件	1件
練習	2件	1件	1件	0件	1件
合計	16件	19件	6件	11件	27件

③ 自主事業の事業形態(小ホール)

大ホールとは異なり、必ずしも鑑賞事業が中心となっているわけではない。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
鑑賞	3件	3件	0件	0件	0件	0件
参加交流	2件	3件	0件	0件	1件	1件
普及育成	2件	3件	0件	2件	2件	2件
合計	7件	9件	0件	2件	3件	3件

④ 自主事業のジャンル(小ホール)

平成30年度、令和元年度は「その他音楽」が自主事業全体の半数を占めている。「その他音楽」は、親子向けのコンサートが多い。

また、コロナ禍以降、自主事業の開催件数が減少している。

	H30年度	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
クラシック音楽	0件	0件	0件	0件	0件	0件
ピアノ	0件	0件	0件	0件	0件	0件
声楽・合唱	0件	0件	0件	0件	0件	0件
その他音楽	4件	4件	0件	1件	0件	0件
吹奏楽	0件	0件	0件	0件	0件	0件
演芸・演劇	0件	1件	0件	0件	0件	0件
会議・講習	0件	2件	0件	0件	1件	1件
舞踊	0件	0件	0件	0件	0件	0件
軽運動	0件	0件	0件	0件	0件	0件
料理	0件	0件	0件	0件	0件	0件
美術	2件	1件	0件	1件	2件	2件
フェスティバル	0件	0件	0件	0件	0件	0件
その他	1件	1件	0件	0件	0件	0件
練習	0件	0件	0件	0件	0件	0件
合計	7件	9件	0件	2件	3件	3件

2 利用者意向の把握

(1) SNS アンケート調査

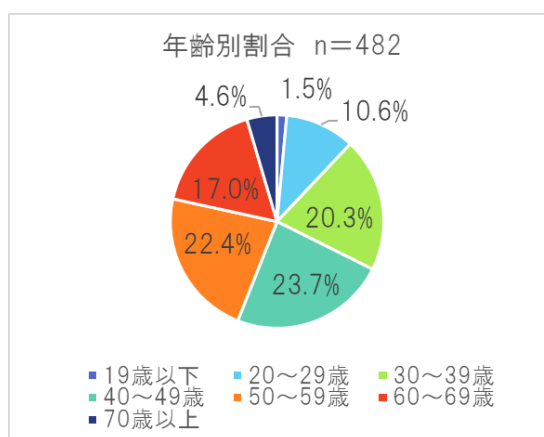
1) 調査概要

対象	全市民(基本的には市民を対象とするが市外回答者も集計に含む)
実施方法	Web
回答数	482
期間	令和5年10月6日(金)～令和5年10月31日(火)

2) 回答者の属性

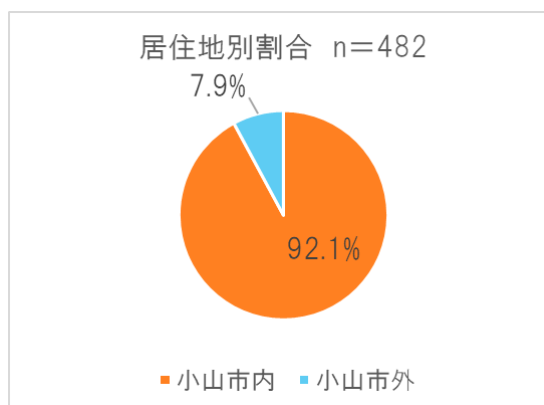
① 年齢別割合

年齢	数値	割合
19歳以下	7	1.5%
20～29歳	51	10.6%
30～39歳	98	20.3%
40～49歳	114	23.7%
50～59歳	108	22.4%
60～69歳	82	17.0%
70歳以上	22	4.6%
合計	482	100.0%



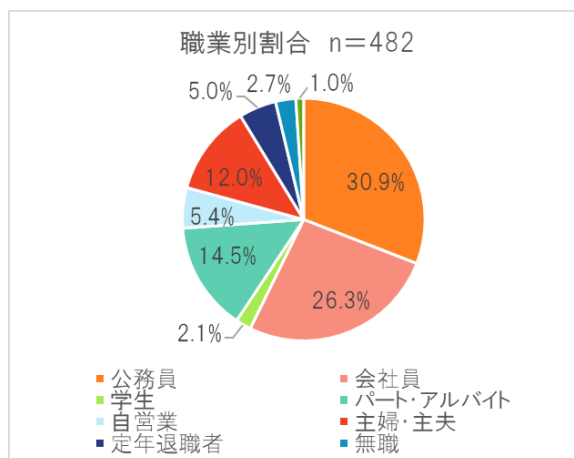
② 居住地別割合

居住地	数値	割合
小山市内	444	92.1%
小山市外	38	7.9%
合計	482	100.0%



③ 職業別割合

職業	数値	割合
公務員	149	30.9%
会社員	127	26.3%
学生	10	2.1%
パート・アルバイト	70	14.5%
自営業	26	5.4%
主婦・主夫	58	12.0%
定年退職者	24	5.0%
無職	13	2.7%
その他	5	1.0%
合計	482	100.0%



<その他回答>

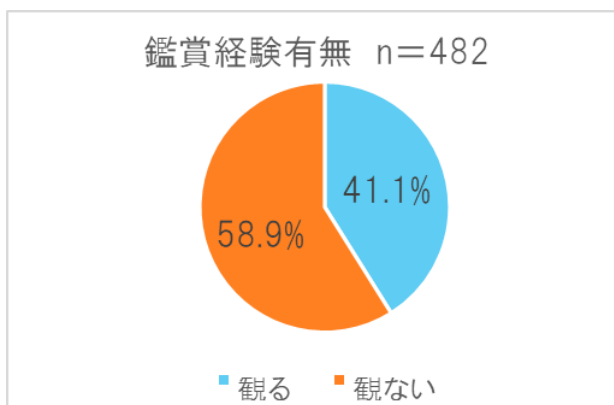
・栄養士 ・派遣社員 ・アパート経営者 ・会社経営者

3) I 鑑賞について

- ① 1年に一度以上、劇場・ホール等に行って、公演をご覧になりますか？(新型コロナ流行時期は除きます)

半数以上の58.9%が「観ない」と回答しており、鑑賞習慣がない。

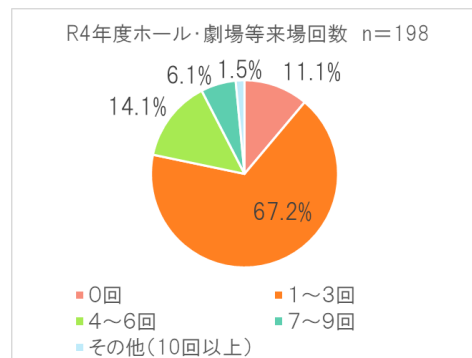
鑑賞経験	数値	割合
観る	198	41.1%
観ない	284	58.9%
合計	482	100.0%



② (①で「観る」と答えた人のみ)令和4年度に何回、劇場・ホール等に行きましたか？

67.2%が「1～3回」と回答しており、鑑賞習慣のある人でも年間鑑賞回数は少ない。ただ鑑賞習慣がある人でも令和4年度に鑑賞していない人が1割いる点から、新型コロナ流行前の鑑賞習慣、鑑賞頻度がまだ戻っていない可能性もうかがわれる。

鑑賞経験	数値	割合
0回	22	11.1%
1～3回	133	67.2%
4～6回	28	14.1%
7～9回	12	6.1%
その他(10回以上)	3	1.5%
無回答	0	0.0%
合計	198	100.0%

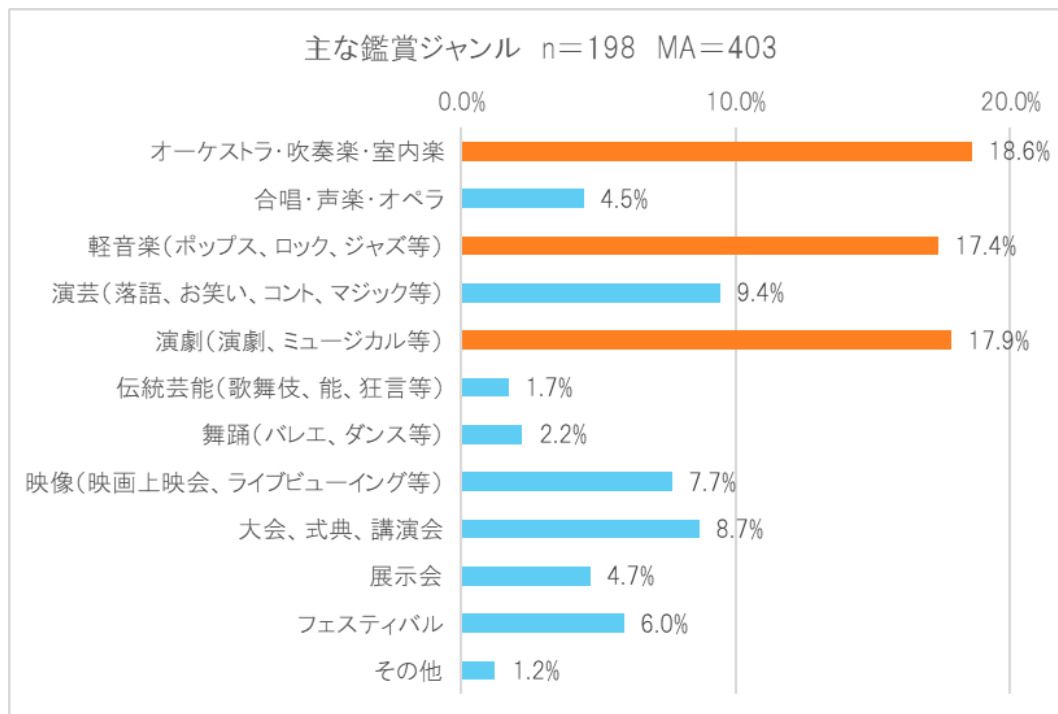


<その他回答>

・10回～15回(2) ・20回以上

③ (①で「観る」と答えた人のみ)主な鑑賞ジャンルは何ですか？【3つまで選択可】

文化センターで利用の多いジャンルである「オーケストラ・吹奏楽・室内楽」「軽音楽」といった音楽に加え、「演劇」を鑑賞するという回答が多い。「伝統芸能」や「舞踊」は割合が低い。

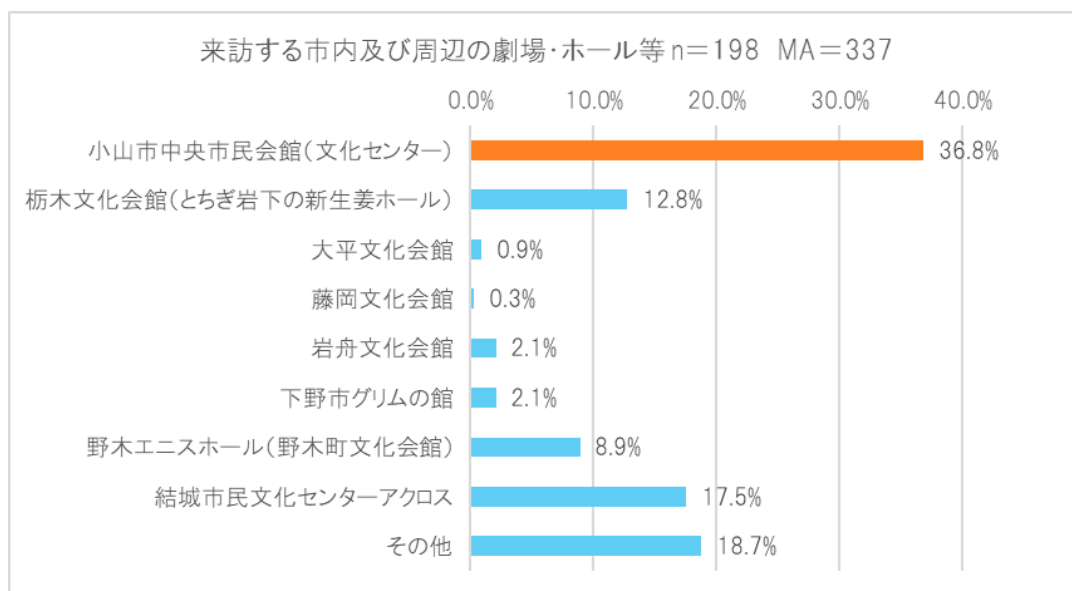


<その他回答>

・子どもの発表会 ・ハンドベル演奏会 ・朗読会 ・プロレス ・子供向けアニメショー

④ (①で「観る」と答えた人のみ)公演鑑賞でよく訪れる小山市内および周辺の劇場・ホール等はどこですか。【3つまで選択可】

「小山市中央市民会館」の割合が最も高い。その他回答以外では、「結城市民文化センターアクロス」の来訪が多い。「その他」回答によると、「宇都宮市文化会館」や「栃木県総合文化センター」なども多く来訪されている。



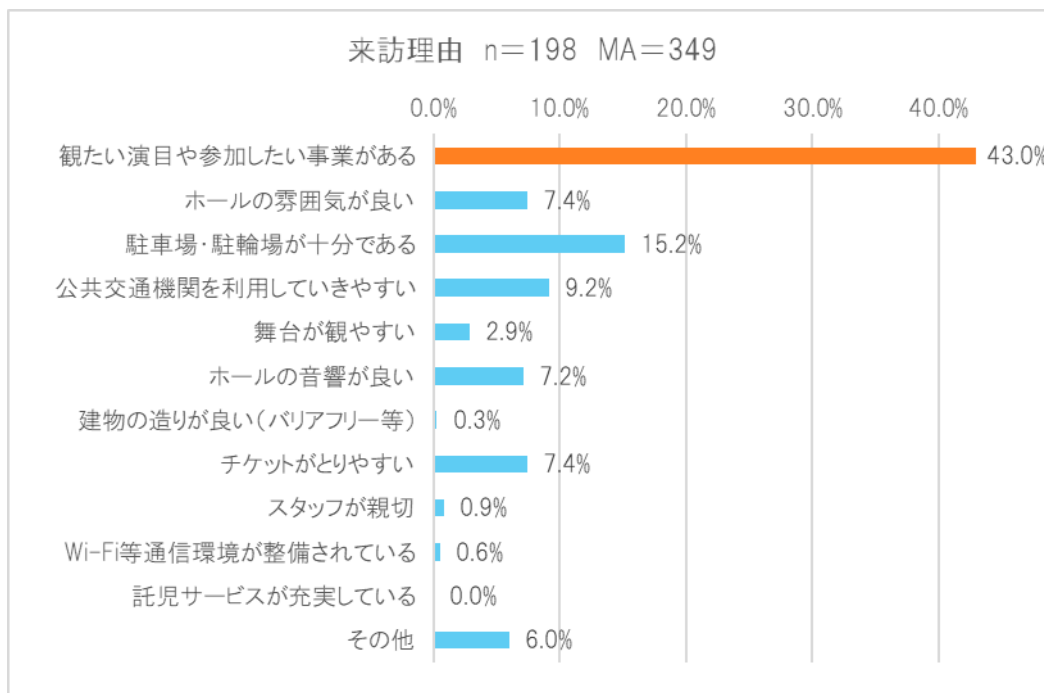
<その他回答>

- ・市内民間施設(2) ※シネマハーベスト、スカラホール ・生涯学習センター(1)
- ・小山市除く栃木県内(26)
- ※宇都宮市文化会館(15)、栃木県総合文化センター(8)、佐野市文化会館(2)等
- ・東京都内(22)
- ※東京都内民間施設(10) サントリーホール、帝国劇場、東京宝塚劇場、四季劇場、歌舞伎座、東京ドームシティ シアターG ロッソ等
- 東京都内公共施設(5) 日比谷公園大音楽堂、日本武道館、東京国際フォーラム、東京芸術劇場等
- ・埼玉県内(5)
- ※埼玉県内公共施設(3) 久喜総合文化会館、菖蒲文化会館(アミーゴ)、大宮ソニックシティ
- ・アリーナ施設(3) ※さいたまスーパーアリーナ、横浜アリーナ
- ・新潟市(1)

⑤ (①で「観る」と答えた人のみ) 記入した劇場・ホール等をよく訪れる理由は何ですか。

【3つまで選択可】

「観たい演目や参加したい事業がある」が 43.0%と圧倒的に割合が高い。次いで、「駐車場・駐輪場が十分である」が 15.2%となっている。また、「その他」回答には「自宅に近いから」と回答した方が多い。

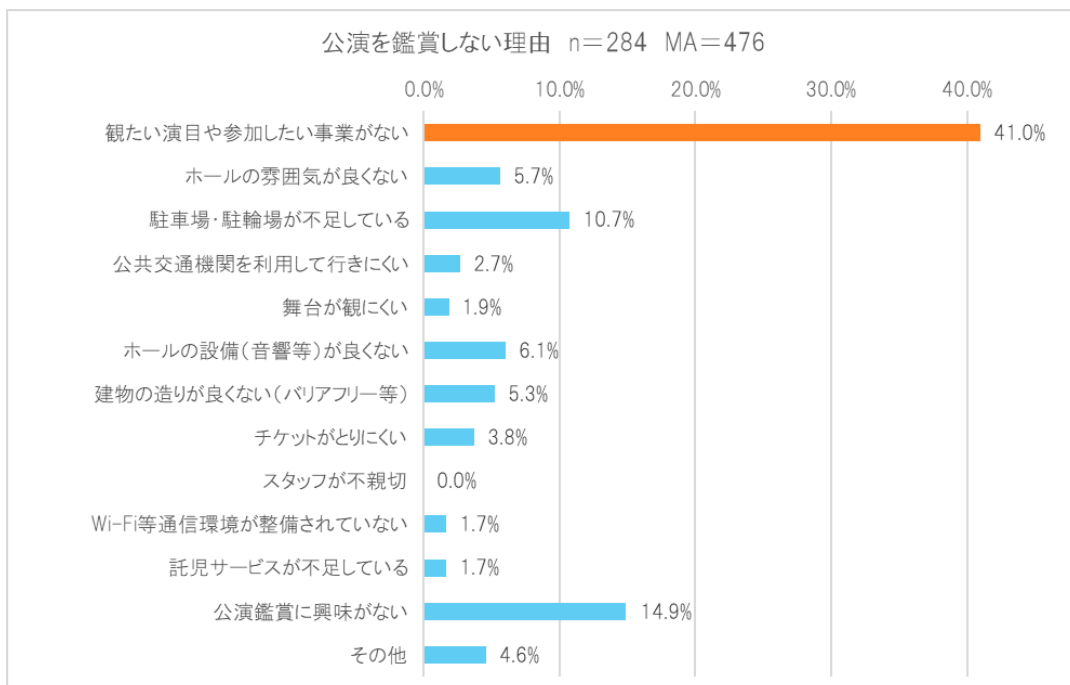


<その他回答>

- ・自宅に近いから。(9)
- ・観たい演目の会場だから。(3)
- ・ポイントカード使えるから。
- ・子連れ参加可能なコンサートがあるから。
- ・友の会会員で案内が届いたり割引等優待券をもらえたりするから。
- ・アクセシビリティサポートがあるから。

⑥ (①で「観ない」と答えた人のみ)公演を鑑賞しなかった理由は何ですか。【3つまで選択可】

「観たい演目や参加したい事業がない」が41.0%と最も割合が高い。これは、劇場・ホールを訪れる理由に「観たい演目や参加したい事業がある」が多いことと合致している。



<その他回答>

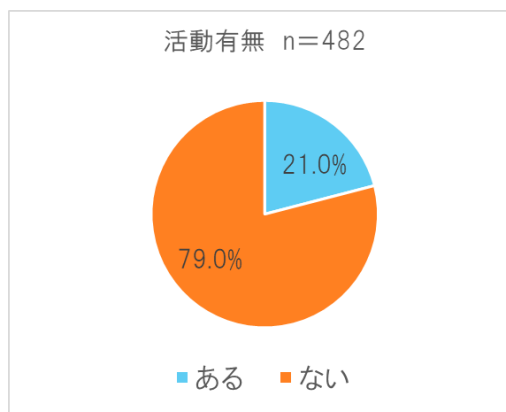
- ・公演日程が合わないから。(4)
- ・公演情報が得にくいから。(8)
- ・時間的、金銭的余裕がないから。(3)
- ・客席数が少なく、観たいアーティストのライブが行われないから。
- ・興味のある公演がないから。

4) II 日常的に行っている活動等について

① 文化芸術、生涯学習、市民活動等、ご自身が日常的に行っている活動はありますか。

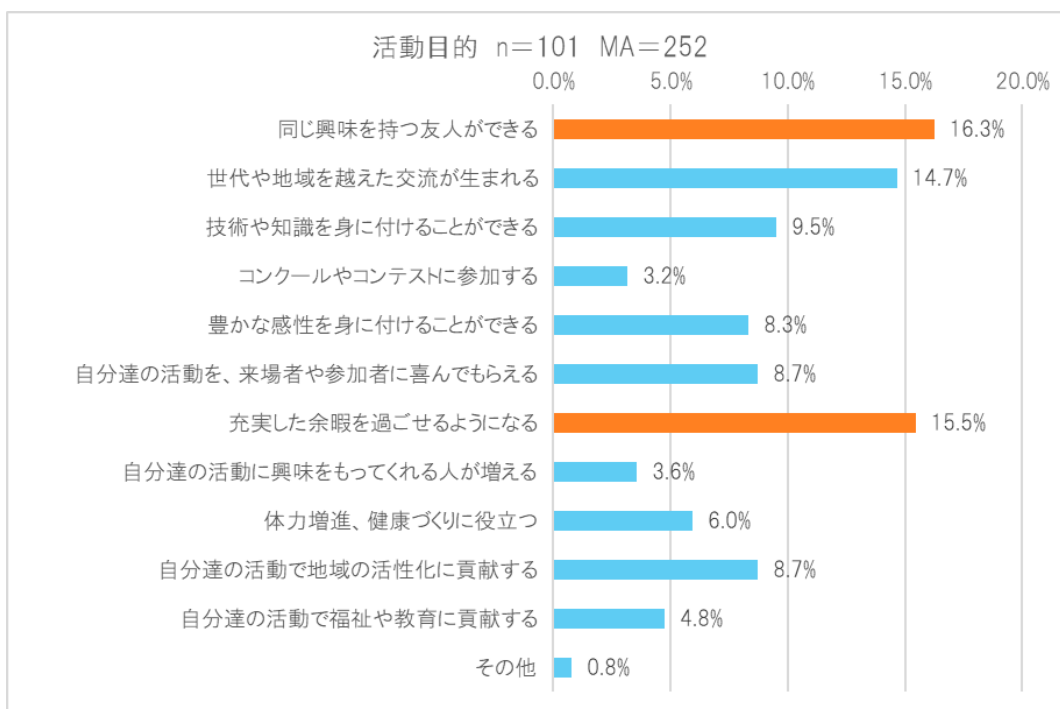
日常的に活動を行っている人は、回答者の2割程度となっている。

活動有無	数値	割合
ある	101	21.0%
ない	381	79.0%
合計	482	100.0%



② (①で「行っている活動がある」と答えた人のみ)活動を行う主な目的は何ですか。【3 つまで選択可】

「同じ興味を持つ友人ができる」「充実した余暇を過ごせるようになる」「世代や地域を超えた交流が生まれる」と回答された方が多い。

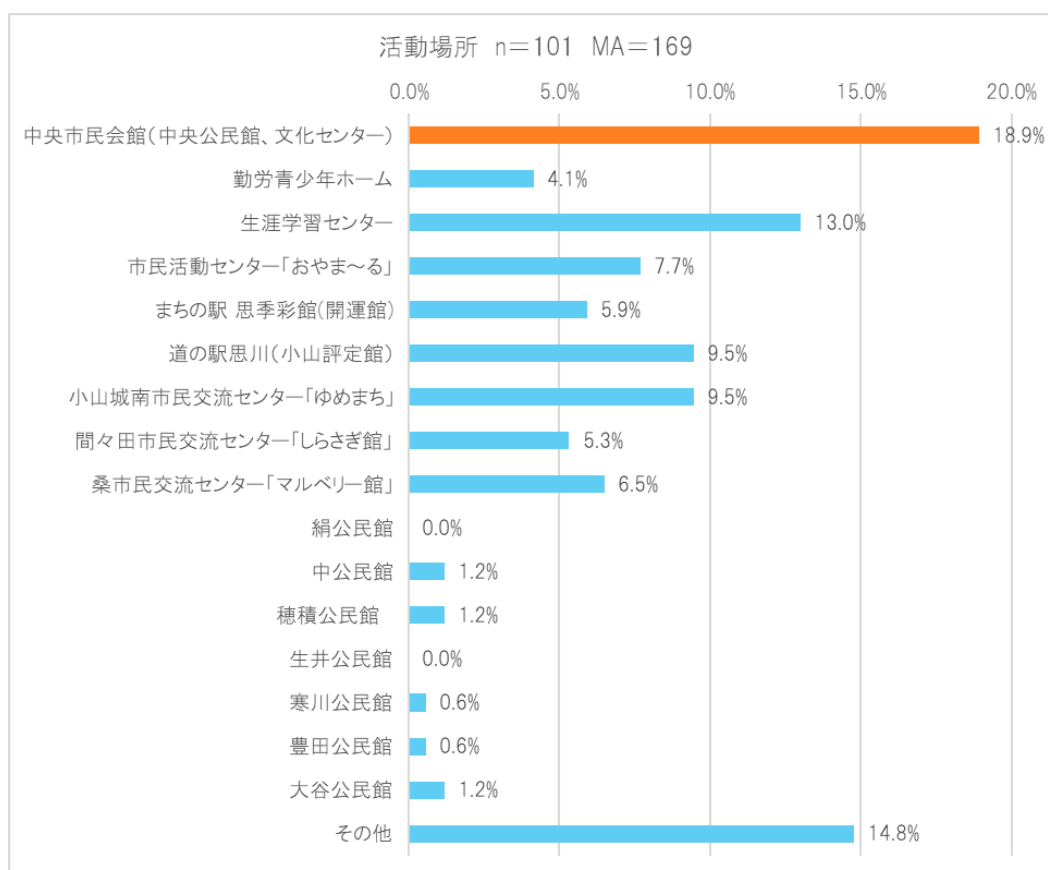


<その他回答>

- ・PLAN OYAMA や駅周辺ウォークアブルシティの実現のため。
- ・創作活動が楽しいから。

③ (①で「行っている活動がある」と答えた人のみ)よく利用する活動場所はどこですか。【3つまで選択可】

「中央市民会館」の割合が最も高く、「生涯学習センター」が2番目に多く利用されている。よく訪れる施設として回答が多かった「結城市民文化センターアクロス」は活動場所としての利用は少ないことがうかがえる。

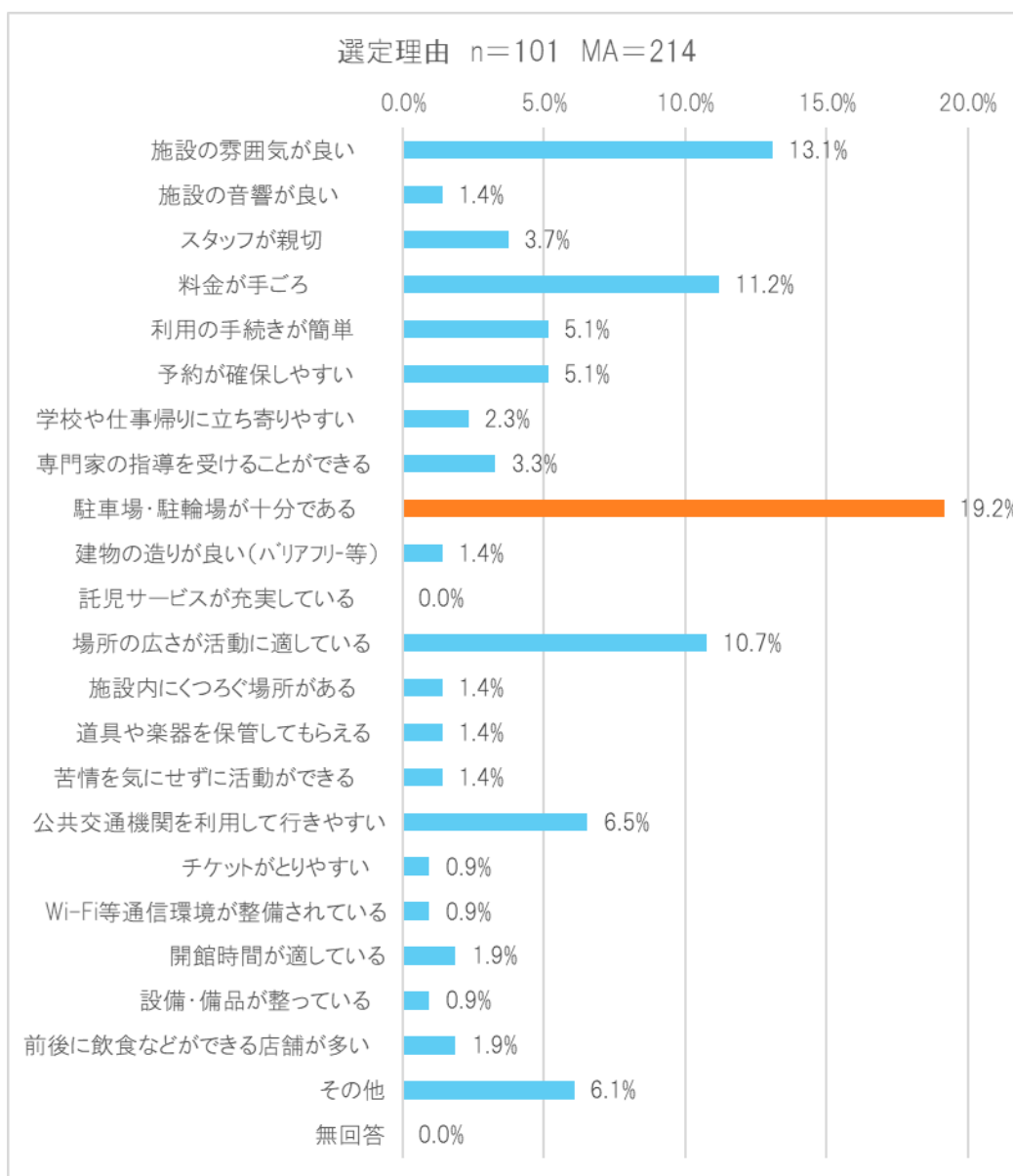


<その他回答>

- ・屋外空間(4) ※思川河川敷、御殿広場、野木運動公園
- ・市内公共施設(11)
 ※大谷北小学校、健康医療介護総合支援センター(健康の森 さくら)、小山本場結城紬クラフト館、市立体育館、市立博物館、市立図書館、小野塚イツ子記念館、出張所、公園事務所等
- ・市内民間施設(4) ※教室、スクール等
- ・宇都宮市内(3)
 ※結城市民文化センターアクロス、野木エニスホール(野木町文化会館)等
- ・都内施設
- ・SNS
- ・自宅

④ (①で「行っている活動がある」と答えた人のみ)前問で選択した施設をよく利用する理由は何ですか。【3つまで選択可】

「駐車場・駐輪場が十分である」が19.2%と最も割合が高い。次いで、「施設の雰囲気が良い」「料金が手ごろ」「場所の広さが活動に適している」も同程度の回答があった。



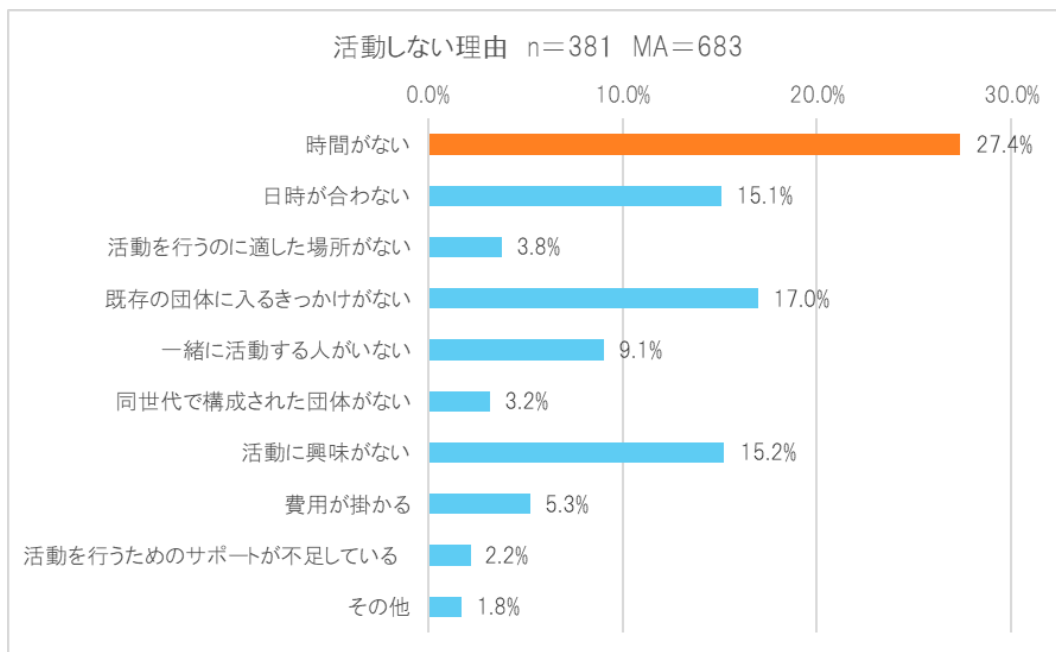
<その他回答>

- ・出演依頼されたから。(7)
- ・人が集まりやすいから。(3)
- ・管楽器の練習場所として市内施設を借りることができないから。
- ・活動するのに十分な広さがあるから。
- ・アクセシビリティサポートの設備があるから。

⑤ (①で「行っている活動はない」と答えた人のみ)活動を行わない理由は何ですか。

【3つまで選択可】

「時間がない」が27.4%と最も割合が高く、「既存の団体に入るきっかけがない」「活動に興味がない」「日時が合わない」が続いている。



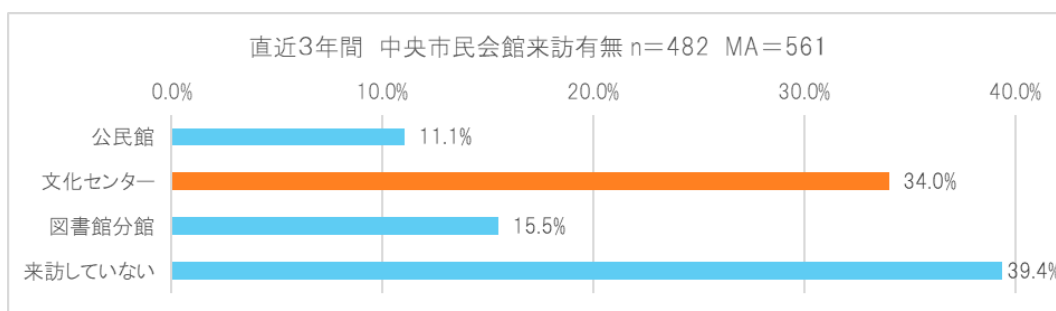
<その他回答>

- ・やりたい活動が行われていないから。(2)
- ・障害があり、活動できないから。(2)
- ・既に存在する団体にあとから参加しづらいから。(2)
- ・活動に参加する優先順位が低いから。(2)
- ・託児サービスが不足しているから。
- ・どんな活動があるか知らないから。

5) Ⅲ中央市民会館について

① 直近3年間、中央市民会館に来訪されましたか。

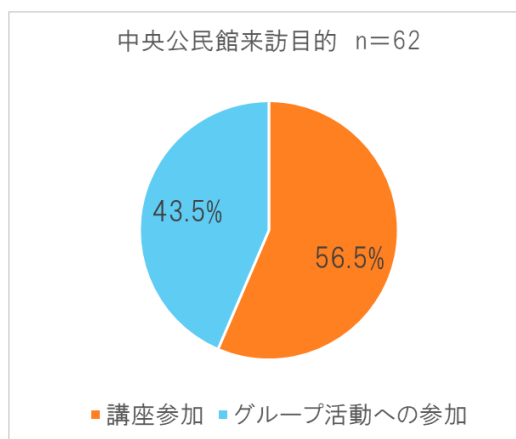
回答者のうち、直近3年間で中央市民会館に来訪しているのは60.6%であり、そのうち文化センターへの来訪が最も多い。



② (①で中央公民館の来訪経験があると答えた人のみ)中央公民館への来訪目的はなんですか。

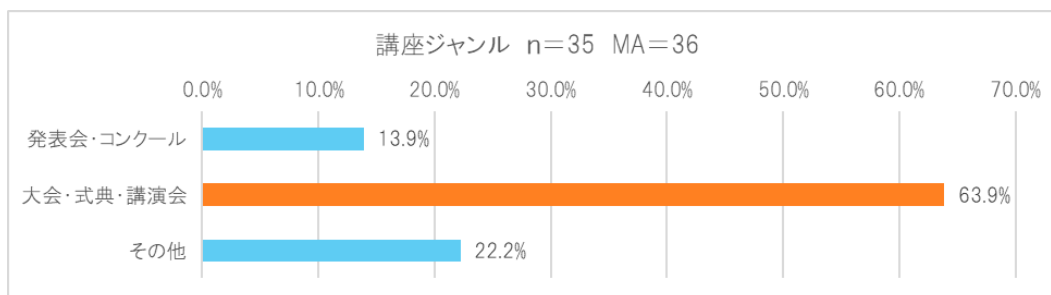
「講座参加」が 56.5%、「グループ参加」が 43.5%とほぼ同程度の割合になっている。

来訪目的	数値	割合
講座参加	35	56.5%
グループ活動への参加	27	43.5%
無回答	0	0.0%
合計	62	100.0%



③ (①で中央公民館の来訪経験があると答えた人のみ)②で「講座に参加するため」と回答した方は、どのようなジャンルでしたか。

「大会・式典・講演会」が 63.9%と圧倒的に割合が高い。その他回答でも講習や会議等の利用がほとんどであり、会議・集会系のジャンルが多いことがうかがえる。

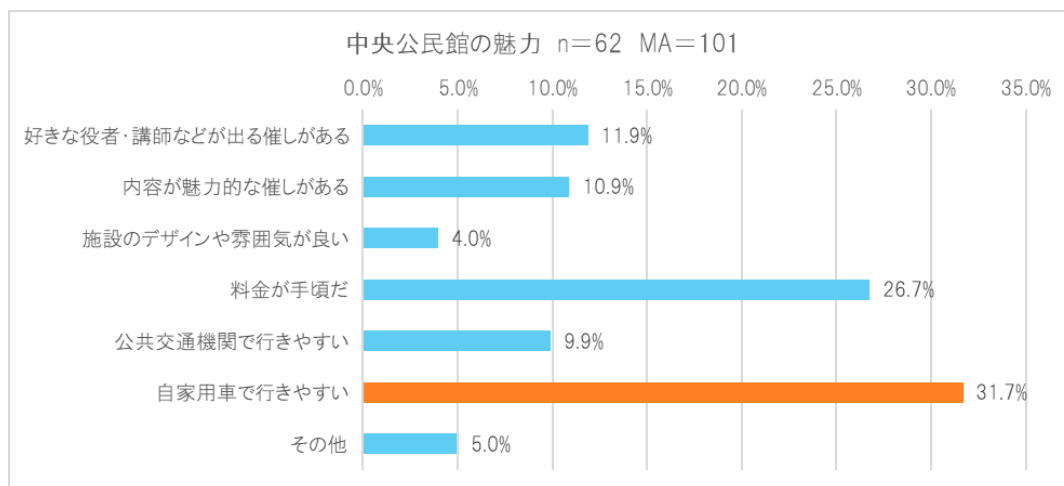


<その他回答>

- ・レクチャー講座(5) ※講習会、研修、市民大学等
- ・会議利用
- ・健康診断
- ・市民フォーラム

④ (①で中央公民館の来訪経験があると答えた人のみ)中央公民館の魅力は何だと思いますか。 ※3つまで選択してください

「自家用車で行きやすい」が31.7%と最も割合が大きく、次いで「料金が手頃だ」が26.7%となっている。これは、施設を利用する理由として「駐車場・駐輪場が十分である」、「料金が手頃」の回答が多かったことと合致する。



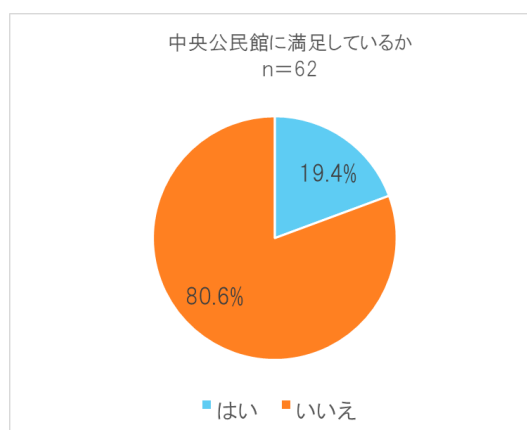
<その他回答>

・ない。(2)

⑤ (①で中央公民館の来訪経験があると答えた人のみ)中央公民館に満足していますか。

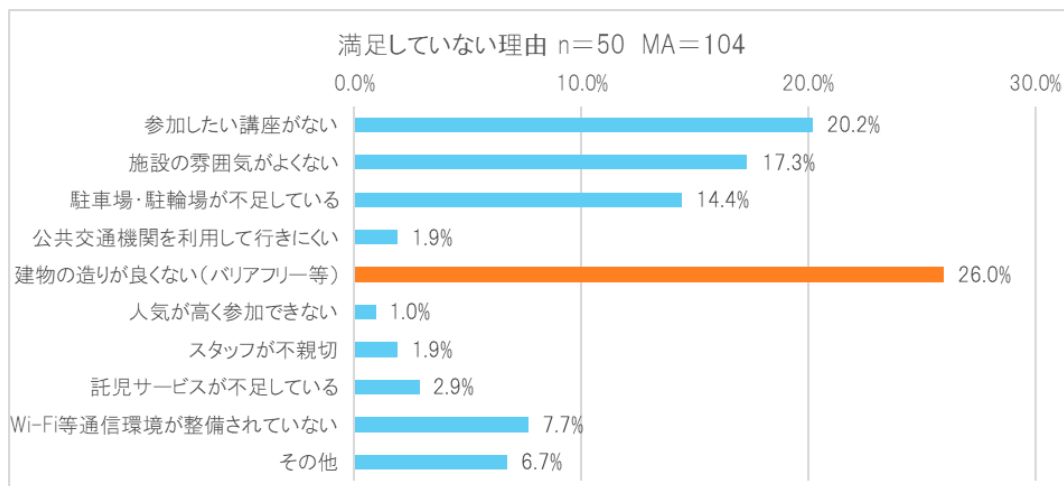
中央公民館に来訪された方のうち80.6%が満足しないと回答している。

満足しているか	数値	割合
はい	12	19.4%
いいえ	50	80.6%
合計	62	100.0%



- ⑥ (①で中央公民館の来訪経験があると答え、⑤で「満足していない」と答えた人のみ)満足していない理由は何ですか。※3つまで選択してください。

「建物の造りが良くない(バリアフリー等)」と回答した方が26.0%と最も多い。また、その他回答でも設備の不具合についての意見が多くみられる。

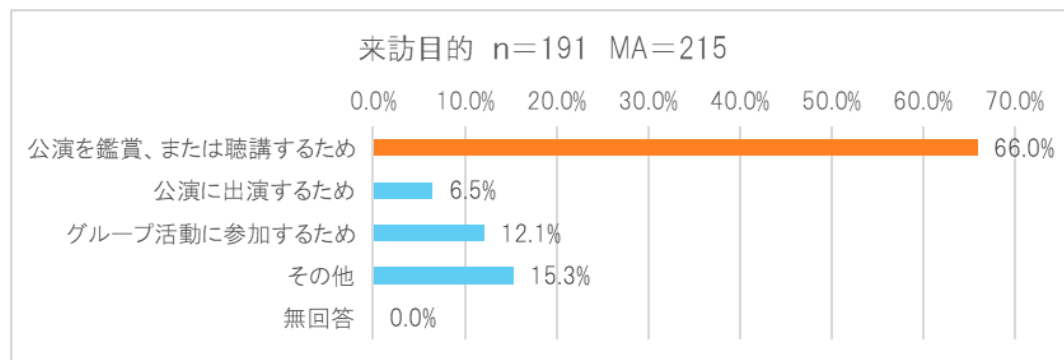


<その他回答>

- ・設備が古く使いにくいから。(3)
- ・自由にくつろげる場所がないから。
- ・廊下に空調設備がないから。
- ・案内表示が不適切だから。
- ・中央図書館小山分館に読みたい本や雑誌がないから。
- ・駐車場から施設までの階段や坂が辛いから。

- ⑦ (①で文化センターの来訪経験があると答えた人のみ)小山市立文化センターへの来訪目的はなんですか。

「公演を鑑賞、又は聴講するため」が66.0%と圧倒的に多い。「その他」回答では、会議等、仕事のために利用する方が多くみられた。



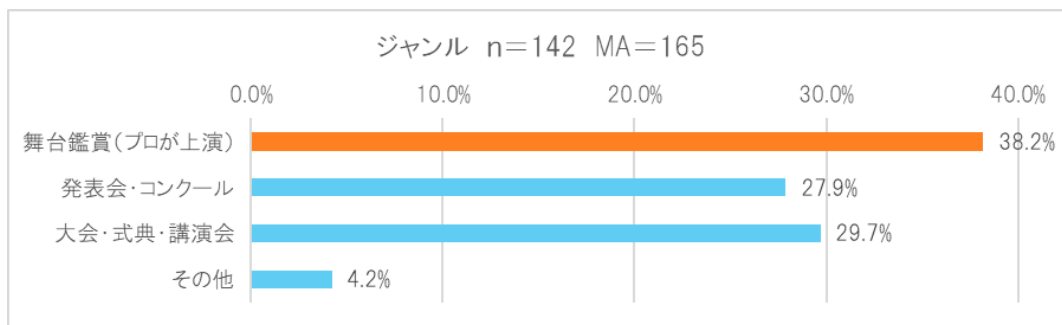
<その他回答>

- ・仕事(8)
- ・就職活動(3) ※ママオシゴト等
- ・選挙関連(3) ※国政報告会、後援会
- ・展示、展覧会鑑賞(5) ※理科研究展覧会、書道展等

- ・説明会、研修会(3) ・表彰式(2) ・発表会 ・確定申告
- ・イベント開催運営及び出演
- ・学校行事、PTA 活動(4) ※制服採寸、学校行事の添乗

⑧ (①で文化センターの来訪経験があると答えた人のみ)「公演を鑑賞、又は聴講するため」と回答した方は、どのようなジャンルでしたか。

「舞台鑑賞(プロが上演)」が 38.2%と最も割合が高いが、「大会・式典・講演会」「発表会」もそれぞれ全体の 3 割弱となっている。

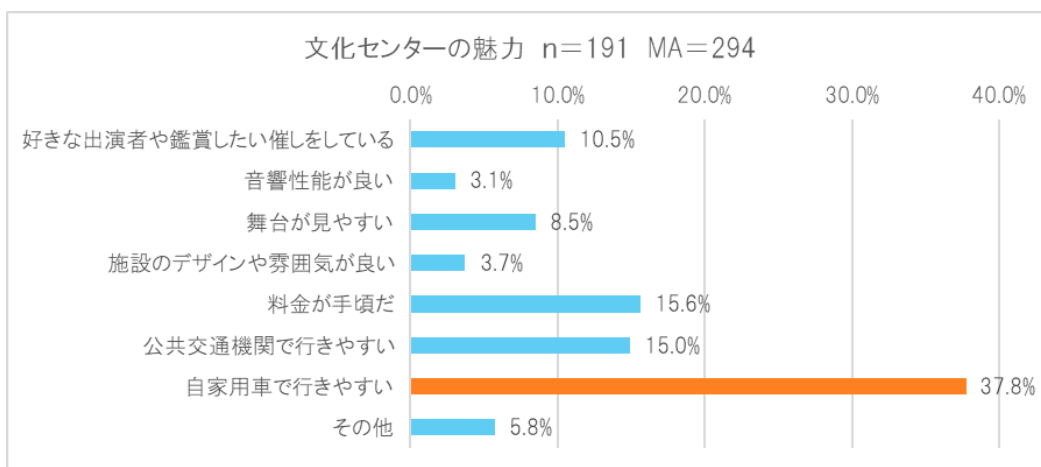


<その他回答>

- ・コンサート ・映画鑑賞会 ・お笑いライブ ・絵画展示会 ・授業の一環としての公演
- ・プロレス

⑨ (①で文化センターの来訪経験があると答えた人のみ)小山市立文化センターの魅力は何だと思いますか。※3 つまで選択してください

「自家用車で行きやすい」が 37.8%と最も割合が高く、④の中央公民館の魅力についてと同じ回答傾向にある。「公共交通機関で行きやすい」という回答は多くないが、「その他」回答をみると駅や自宅等から近いことを魅力として挙げている声があり、車移動を前提としたアクセスを評価していることがうかがえる。



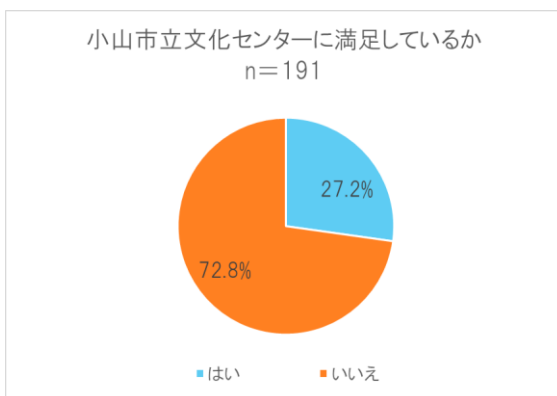
<その他回答>

- ・ない。(6)
- ・駅や自宅、市役所から近い。(4)
- ・施設外観が好み。
- ・無料参加できるイベントが多い。
- ・広々としている。
- ・指定管理者の対応がよい。

⑩ (①で文化センターの来訪経験があると答えた人のみ)小山市立文化センターに満足していますか。

小山市立文化センターに来訪している方のうち、72.8%の方は満足していないと回答している。

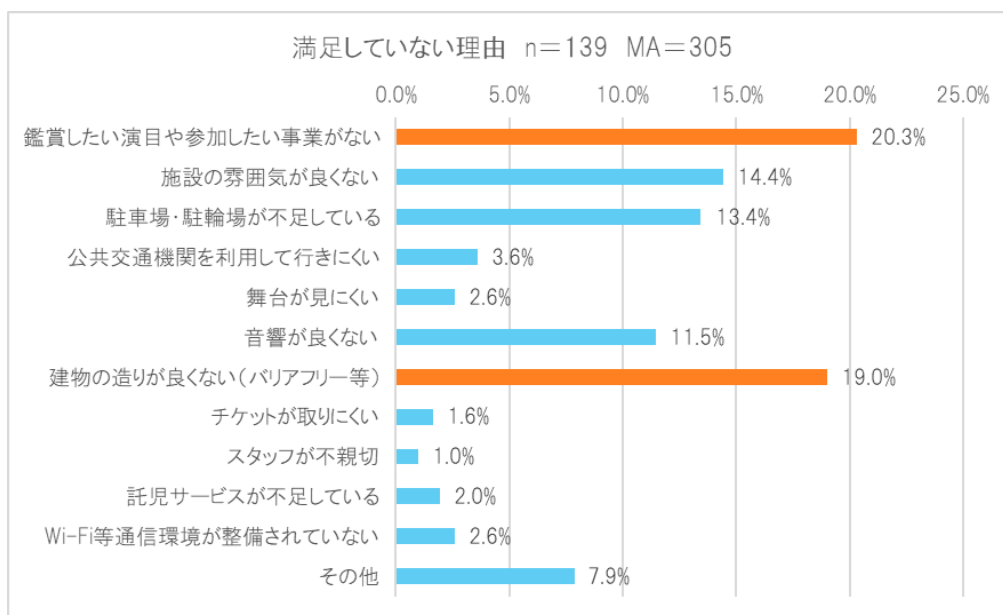
満足しているか	数値	割合
はい	52	27.2%
いいえ	139	72.8%
合計	191	100.0%



⑪ (①で文化センターの来訪経験があると答え、⑩で「満足していない」と答えた人のみ) 満足していない理由は何ですか。 ※3 つまで選択してください

「鑑賞したい演目や参加したい事業がない」「建物の造りが良くない(バリアフリー等)」の回答が多く、中央公民館に満足していない理由の傾向とはほぼ合致している。駐車場の多さを評価する声が多かった一方、不足しているという声も多い。

「その他」回答では、設備の劣化、不具合等への意見が多数みられる。

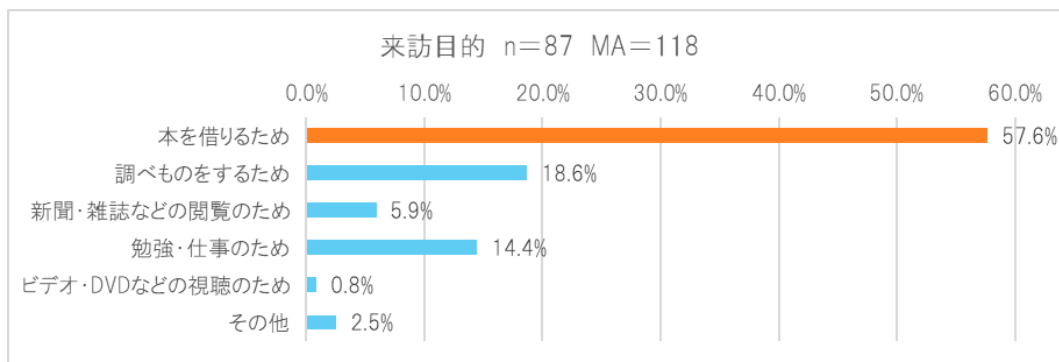


<その他回答>

- ・古い。(9)
- ・バリアフリーでない。(3) ※親子室がない等
- ・トイレ設備が不十分。(4) ※多目的トイレの個室数の少なさ、バリアフリーでない
- ・客席数が少なく観たい演目に不適切。(2)
- ・上下の移動が大変。(5) ※トイレが地下、駐車場から施設までの道のりに階段がある。
- ・狭い。(2) ※搬出入口、通路、舞台袖、諸室、ロビー等
- ・汚い。
- ・暗い。
- ・オーケストラピットが手動である。
- ・展示設備が不十分。
- ・駐車場や施設近くの道が混んでいる。
- ・音響が悪い。
- ・多目的ホールの設備が中途半端。
- ・食事できる場がない。

⑫ (①で中央図書館分館の来訪経験があると答えた人のみ)中央図書館小山分館への来訪目的はなんですか。

「本を借りるため」が 57.6%と圧倒的に多く、それに比べると調べ物や勉強など、滞在型の利用を目的とする人はやや少ない。また、一般的に図書館には新聞・雑誌の閲覧のために日常的に足を運ぶ人が多い傾向があるが、新聞・雑誌の閲覧目的も少ない。



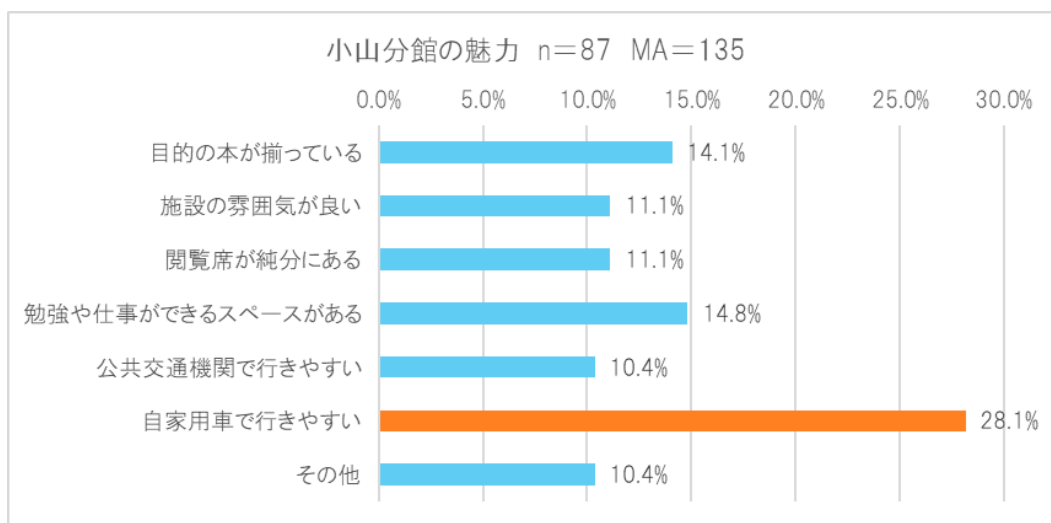
<その他回答>

・勉強のため。・時間調整のため。・雰囲気を見るため。

⑬ 中央図書館小山分館の魅力は何だと思いますか。※3 つまで選択してください

「自家用車で行きやすい」が 28.1%と最も割合が高い。中央公民館、文化センターの魅力で「自家用車で行きやすい」が高かったことと合致している。「その他」回答でも、自宅や職場から近いことを理由として多く挙げられている。

前項⑫で「本を借りることを目的とする人が多い一方で、ここでは「目的の本が揃っている」の回答が少なく、交通便利を評価する回答が多いというのは、「その他」回答にもあるように中央図書館からの貸し出し本の受け取り目的が主である可能性もうかがえる。



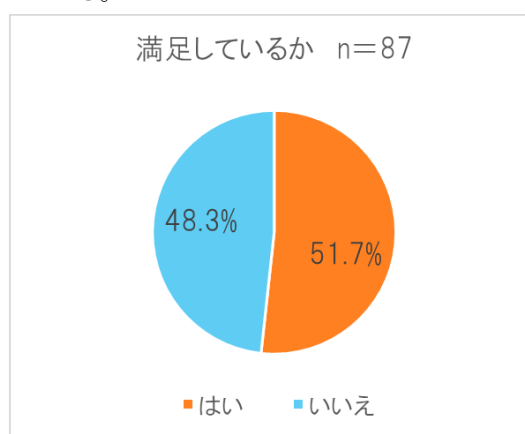
<その他回答>

- ・ない。(2) ・中央図書館の貸出本を受け取れる。(2)
- ・自宅や職場から近い。(6) ・空いている。(2)
- ・ホールでのイベントの時間調整に使える。 ・静か。

⑭ (①で中央図書館分館の来訪経験があると答えた人のみ)中央図書館小山分館に満足していますか。

来訪者のうち約半数は満足していると回答している。

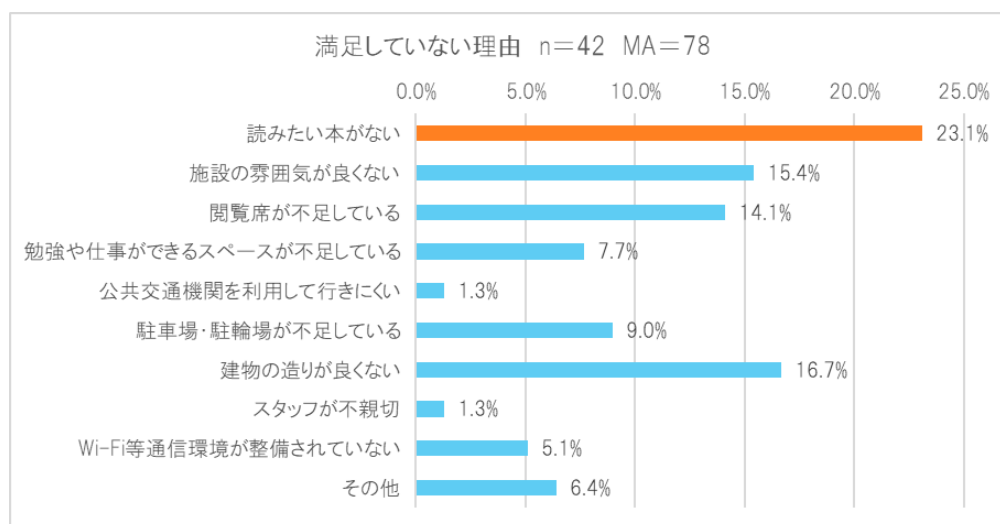
満足しているか	数値	割合
はい	45	51.7%
いいえ	42	48.3%
無回答	0	0.0%
合計	87	100.0%



⑮ (①で中央図書館分館の来訪経験があると答え、⑭で「満足していない」と答えた人のみ)満足していない理由は何ですか。※3つまで選択してください

「読みたい本がない」が 23.1%と最も割合が高い。次いで、「建物の造りが良くない」「施設の雰囲気が良くない」「閲覧席が不足している」と回答した方が多い。

⑫⑬の回答とあわせて、やはり中央図書館の貸出本受け取りの場所としての利用目的がうかがわれ、分館そのものに読書や調べ物目的で訪れたり、日常的に時間を過ごしに来たりする習慣は見受けられにくい。



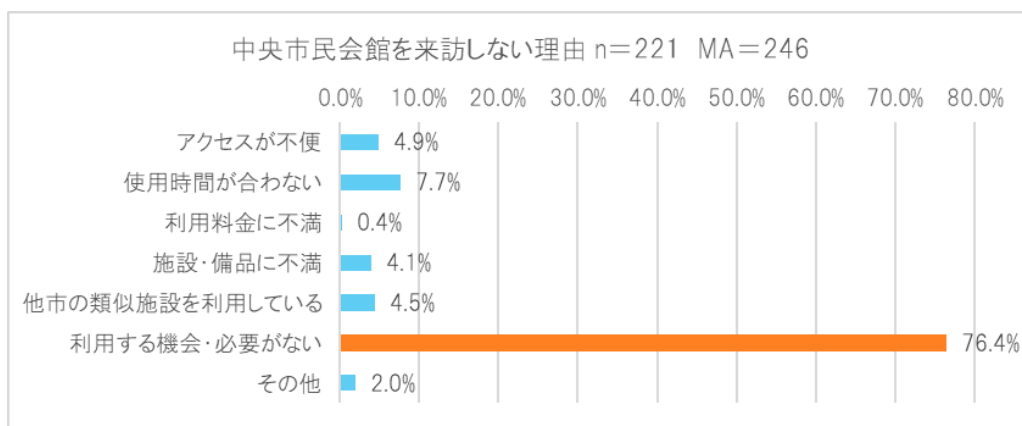
<その他回答>

- ・規模が小さい。
- ・本が充実していない。
- ・古くて汚い。
- ・開館時間が短い。
- ・空いている日数が少ない。

⑩ (①で中央市民会館の来訪経験がないと答えた人のみ) 来訪されない理由は何ですか。

※3 つまで選択してください

「利用する機会・必要がない」が 76.4%と圧倒的に割合が高い。



<その他回答>

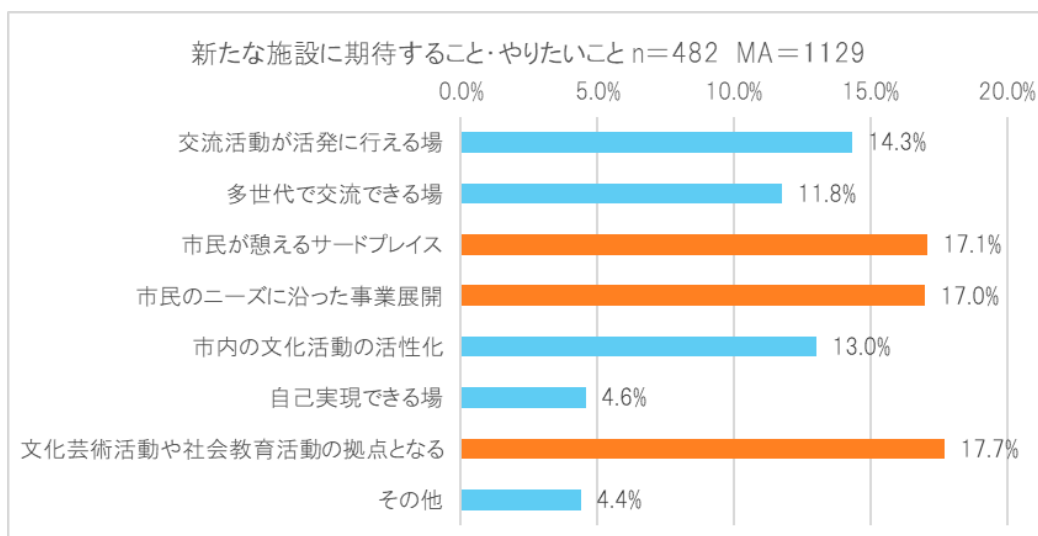
- ・施設が古くて暗い。
- ・新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される。(2)
- ・開館日に仕事がある。
- ・使用方法がわからない。
- ・魅力がわからない。

6) IV新たな施設に期待することや要望など

① 小山駅周辺に設置予定の新たな施設に期待すること・新たな施設でやりたいこと、小山らしさを活かした施設づくりについてのご意見をご記入ください。(自由回答)

「文化芸術活動や社会教育活動の拠点となる」「市民が憩えるサードプレイス」「市民のニーズに沿った事業展開」の割合が高い。

「その他」回答でも同様に、誰もがふらっと訪れて好きな時間を過ごせるようなサードプレイスや人の流れを生む仕掛けづくり、著名なアーティストによる公演会場を望む意見が多数みられる。



<その他回答>

【全体への意見】

- ・市外からひとを呼びこむ仕掛け ※イベント、魅力的な環境
- ・情報発信の場(2) ※市の魅力発信、イベント情報、観光案内
- ・異文化交流の場(2) ※日本語教室棟
- ・安心安全な場所(3)
- ※心理的安全、バリアフリー化、防犯防災拠点化、高齢者が使いやすい場所
- ・商業施設との複合化(6) ※アミューズメント施設の隣接、活気ある場所、交流人口を増やし外貨獲得、マネタイズできる、民間事業者が利用したくなる施設
- ・老朽化した公共施設の集約 ・旧まちかど美術館を移設し総合力ある施設
- ・洗練されたデザイン ・取材されるような場所 ・小屋付きの市民劇団
- ・安芸高田市のようにほしくない ・マイノリティが活躍できる場所

【サードプレイス】

- ・静かな勉強スペースとおしゃべり可能なスペースの両方がある
- ・気軽に入りやすい雰囲気(3)

※フリースペース、ソファをいたるところに設置、休憩できる場所

- ・若者の居場所(2) ※勉強スペース
- ・不登校の子どもの居場所化

【貸出施設など】

- ・著名アーティストの公演会場(9)

※5,000 人規模のホール、音響設備充実、音楽利用を見据えた設備、プロが利用したくなるホール

- ・客席 ※ゆとりある席幅、格納式テーブル設置、疲れにくい客席
- ・楽屋数の増加 ・ホール内に舞台が見にくいひと向けのモニター設置
- ・雨に濡れずにホールまで行ける動線 ※アーケードや地下駐車場、施設の近くに駐車場
- ・特定の団体以外も音楽練習ができる場(2) ※小規模音楽練習室
- ・予約しやすい施設 ・会議利用できる部屋
- ・営利目的利用できるレンタルスペース(2)
- ・サークル活動成果や作品展示できる場(2)

【設備機能】

- ・子連れが来訪できる環境(11) ※託児所、あそび場、子育て世代の交流の場、特産品販売
- ・トイレ設備の充実(2)

※各階にトイレ設置、男子トイレにおむつ交換台、授乳室併設、オストメイト対応

- ・食事できる場(3) ※小山市特産品提供、イベント後に寄れる場所
- ・演出設備としてプロジェクションマッピング
- ・室内運動できる場所 ・しっかりとした空調設備
- ・宿泊設備(2) ・温泉施設

【アクセス】

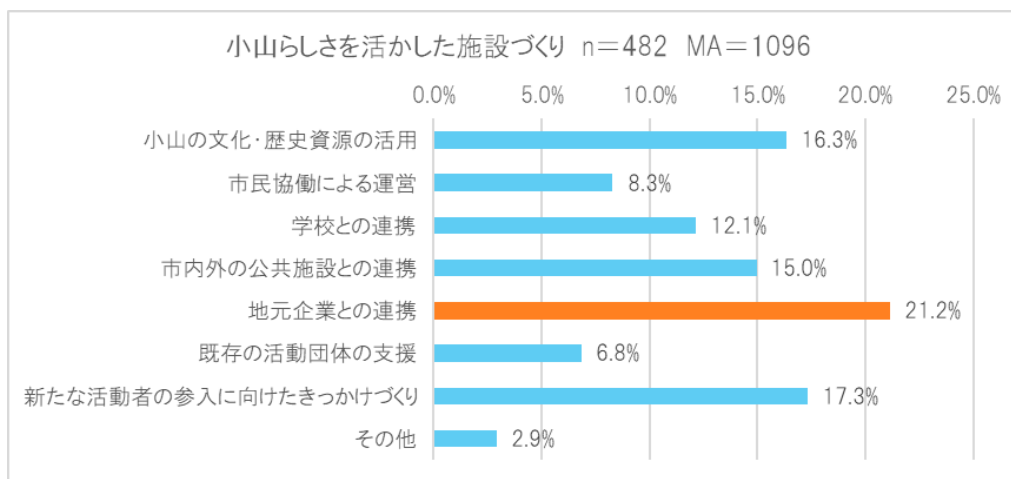
- ・車社会で駐車場設備は必須(8) ・駅利用者には有益 ・図書館隣接
- ・徒歩や公共交通機関の利用を推奨 ※駐車場の有料化、周辺の店への人流を生む仕掛け
- ・前提として駅周辺道路の整備 ・おーバスで市内どこからでもアクセスできる立地

【運営】

- ・直営でなく指定管理者制度導入
- ・手ごろな利用料金

② 小山らしさを活かした施設づくり

「地元企業との連携」が21.2%と最も割合が高い。次いで「新たな活動者の参入に向けたきっかけづくり」「小山の文化・歴史資源の活用」「市内外の公共施設との連携」と回答された方が多い。「その他」回答でも同様に様々な対象との連携が望まれている。また、特に小山の人をはじめとした様々な文化資源の活用が期待されている。



<その他回答>

【アクセス】

・交通利便性を活かす(4)

※駅直結、公共交通機関を利用して来訪、他県からの客を呼び込める公演やイベント、グローバルな視点を持つ

・駅周辺回遊性を高める(3)

※公園鑑賞後街なかへ繰り出す、地域活性化、JR貨物の遊休地を中心に開発すべき

【小山らしさ】

・小山らしさを追求しすぎない(4) ※長く使える汎用性高い施設

・小山らしい施設(5)

※地元出身文化人の活用、小山出身者の展示作品を手軽に拝見できるブース、お土産売り場、地元ショップの入れ替え制マルシェ、小山に合わせたクロスカルチャー生涯学習施設

【人】

・幅広い世代、幅広い方が活躍できる(2) ※看護師駐在 ・市民の雇用の場

・既存団体だけでなく新規団体にも目を向けてほしい

・子どもファーストの環境(3) ※子育て支援、若者と協働、子連れで利用できる飲食店

・今いる市民を大切にする(2) ※市民が楽しめる、市民が借りやすい

【自然】

- ・災害時対応(2)
- ・自然(2) ※壁面緑化等を活用し、ZEB とグリーンの両立、自然を共有

【各種連携】

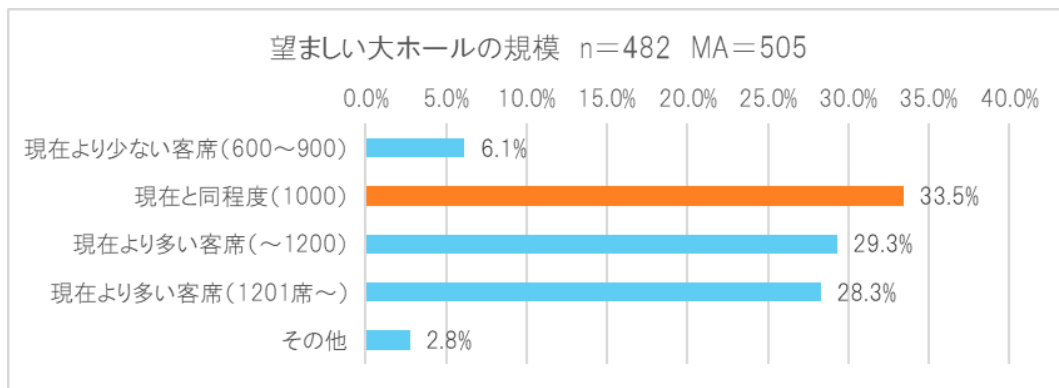
- ・民間企業団体との連携や協働(2)
- ・部活動の受け皿
- ・児童・生徒が ICT について発表する、企業が PR する、それらを公営に役立てるなど、地域の連携が PR でき活性化につなげられるような近代的なもの

【その他】

- ・SNS 映えするスポット
- ・ネット予約できる
- ・デュアルライフをしたくなる施設づくり
- ・男女共同センターや子育てセンター設置
- ・100 人規模の小劇場を複数設置

③ 望ましい大ホールの規模はどれくらいですか。

「現在と同程度(1,000 席)」が最も割合が高い結果となっている。一方で「現在より多い客席」を望む意見も多い。



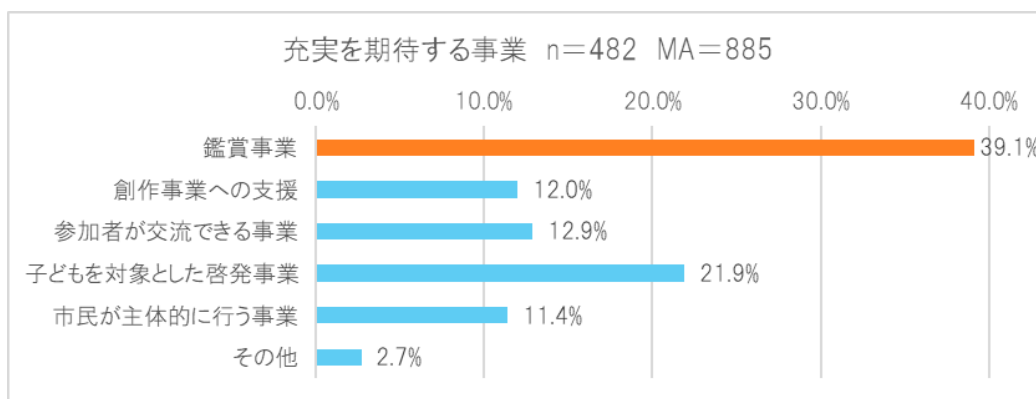
<その他回答>

- ・フレキシブルに対応できる
- ・営利利用ならば少なくとも 5,000 人以上の大型にしなければ集客できない
- ・ゆとりのある座席間隔
イベントターが利益を確保できる客席数は 1,600~2,000 席以上
- ・無駄に大きいものは必要ない

④ 新しいホールで充実を期待する事業について、あてはまるものすべてを選択してください。

「鑑賞事業」が 39.1%と圧倒的に割合が高い。次いで「子どもを対象とした啓発事業」が多くみられる。

「その他」回答でも同様に鑑賞事業を望む意見もみられたが、小山だからこそできること、市民が参加できる事業についても充実が期待されている。



<その他回答>

【鑑賞事業】

- ・著名人のコンサートや演劇
- ・音楽イベント
- ・営利イベント

【小山ならではの】

- ・小山市の歴史や文化、伝統啓蒙事業
- ・市の商工業の見本市が行えるような施設
- ・現在の学校教育や市、企業の取り組みがわかるイベント
- ・市の魅力を発信する事業
- ・近隣のホールでは出来ない、小山市に来ないと参加できない事業

【市民参加・市民活動】

- ・市民参加の文化事業 ※近隣の商店街ごと劇場
- ・多様性のマイノリティたちの表現者を生み出す場
- ・伝統芸能の発表の場
- ・ライブ活動等を活発に行える場所

【生涯学習】

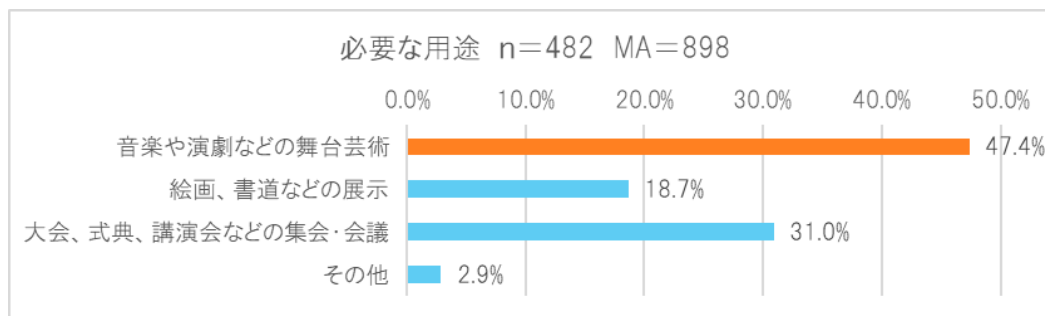
- ・生涯学習センターで行っていたベーゼンドルファー(ピアノ)の無観客 演奏予約
- ・国際交流事業、外国人向けの日本語教室
- ・いろんな国のグルメイベント
- ・展示会やセミナーなど地元企業を有効活用したイベント

【その他】

- ・ロボットコンテスト
- ・図書館

⑤ 新しいホールの用途(使い方)として必要だと考えるものを全て選択してください。

「音楽や演劇などの舞台芸術」の割合が高く、「大会、式典、講演会などの集会・会議」が続いている。その他回答でも、舞台芸術や集会・会議に関する意見がみられ、多目的に使用できることも期待されている。



<その他回答>

【舞台芸術】

- ・著名アーティスト公演
- ・地域活動の発表の場
- ・生徒や学生の活動発表の場
- ・映画上映

【集会・会議】

- ・ビジネス利用(3) ※コンベンションホール、企業応援等
- ・交流事業(3)

※国際交流事業、外国人向けの日本語教室、産業交流拠点としてのセミナー

【育成事業】

- ・実験的ワークショップ(2)

【多目的】

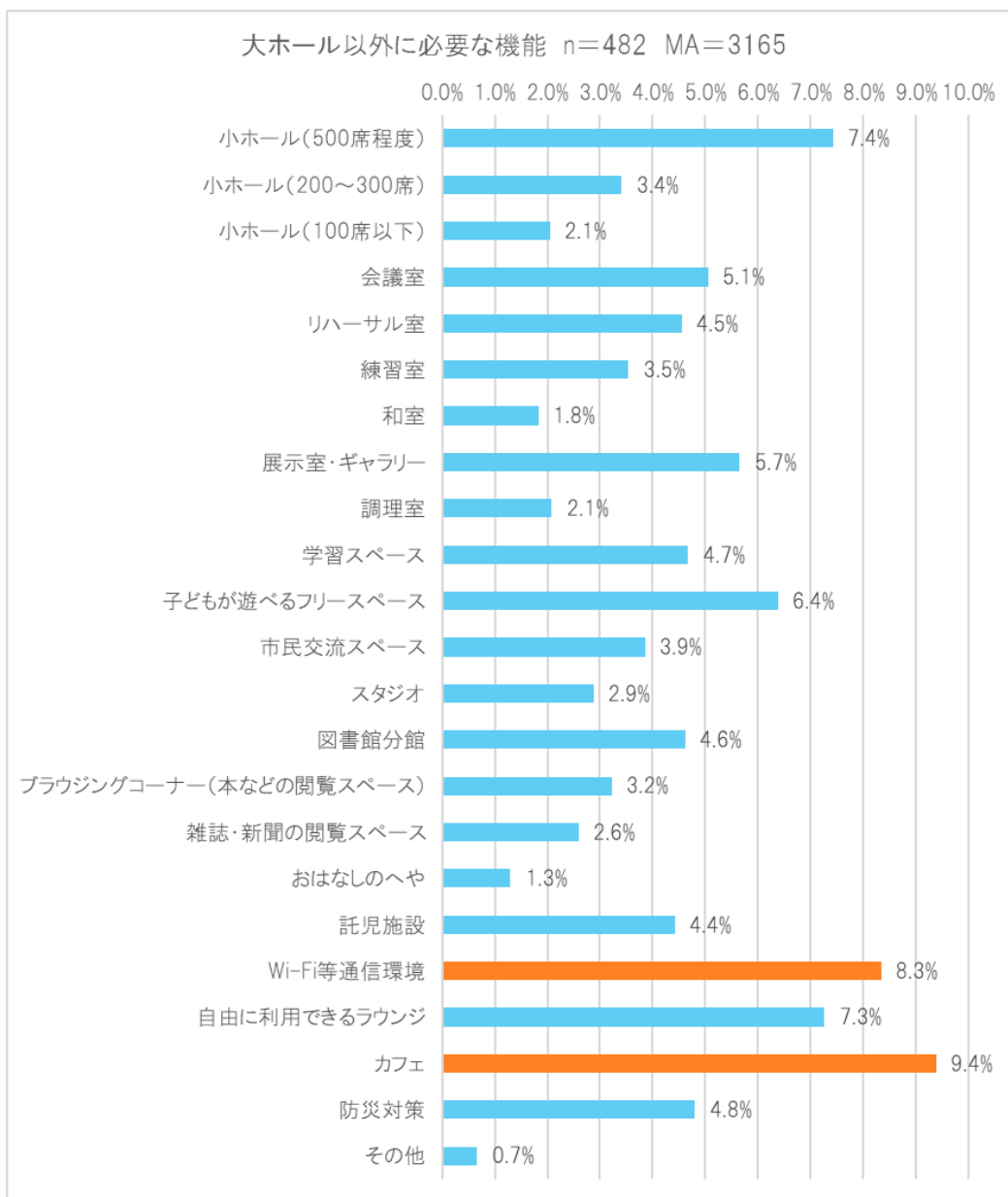
- ・多目的使用できる(3)

【その他】

- ・市民が気軽に訪れられる(2)
- ・運動できる(2)
- ・児童館

⑥ 大ホール以外に、新たな施設に必要な機能について、あてはまるものすべてを選択してください。

「Wi-Fi 等通信環境」「カフェ」の割合が高い。次いで、「小ホール(500 席程度)」「自由に利用できるラウンジ」の割合が高い。その他回答でも同様に、飲食施設に関する意見が挙げられている。また、様々な諸室を望む意見が多数みられた。



<その他回答>

【ホール】

・大中小と3つのホール(800人、300～500人、150人など) ・中ホール(800人程度)

【その他諸室】

・多目的スペース ・陶芸室 ・お茶室

- ・会議室、練習室、リハーサル室等多目的に対応
 - ・少人数で遊びに使える小さい部屋
 - ・音楽練習スタジオ(2) ※天高ある
 - ・運動できる(3)
- ※ジム、eスポーツ・VR スポーツ体験コーナー、スポーツクライミング施設、スポーツジム

【飲食】

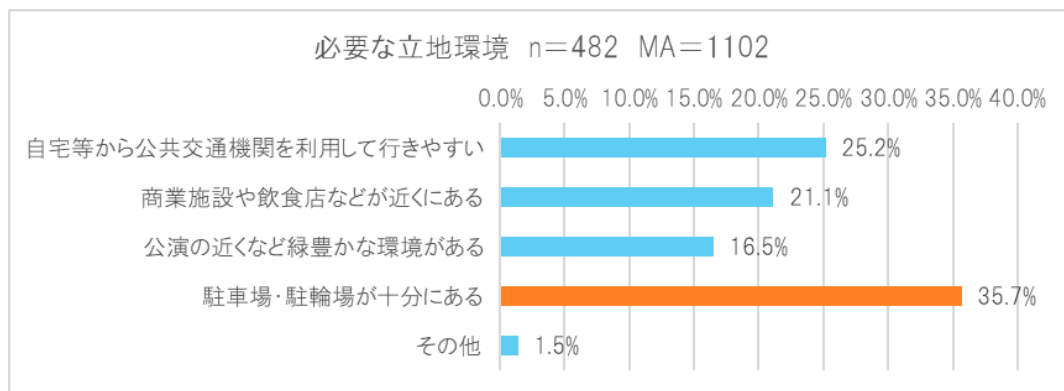
- ・食堂 ・レストラン

【その他】

- ・図書館(2) ・小山遊園地のようなアミューズメント施設
- ・宿泊施設 ・フリースクール ・国際交流、日本語教育スペース
- ・男性も入れる授乳部屋や広めのオムツ替えスペース

⑦ 新たな施設に必要なと思う立地環境についてあてはまるものすべてを選択してください。

「駐車場・駐輪場が十分にある」の割合が高く、これまでの設問の回答と合致している。また、「その他」回答での意見から、手段を問わず来訪しやすい立地となることが望まれている。



<その他回答>

- ・東京から人が呼べる場所
- ・避難所として使える場所
- ・どんなアクセス方法でも訪れられる場所(2)
- ・市役所付近(2)
- ・天候に左右されずに駅から行ける場所(2)
- ・駅から徒歩 15分～20分以内の場所(2)
- ・バックヤードにゆとりある場所

(2) 文化団体アンケート調査

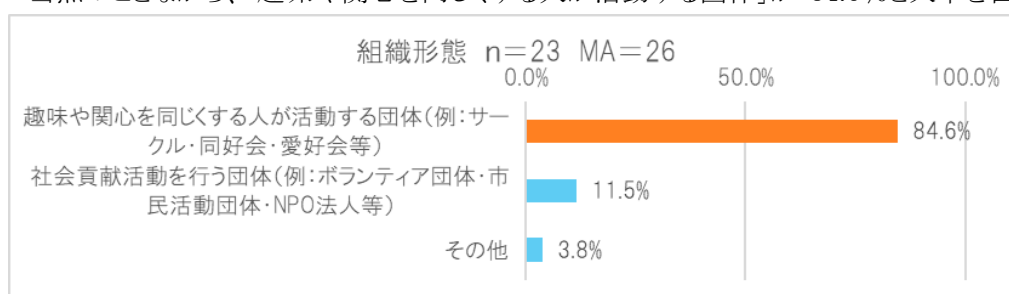
1) 調査概要

対象	小山市文化協会
実施方法	Web
回答数	23
期間	令和5年10月18日(水)～令和5年11月10日(金)

2) 貴団体の概要について

① 貴団体の組織形態は、以下のどれに属しますか。【複数回答可】

当然のことながら、「趣味や関心を同じくする人が活動する団体」が84.6%と大半を占める。

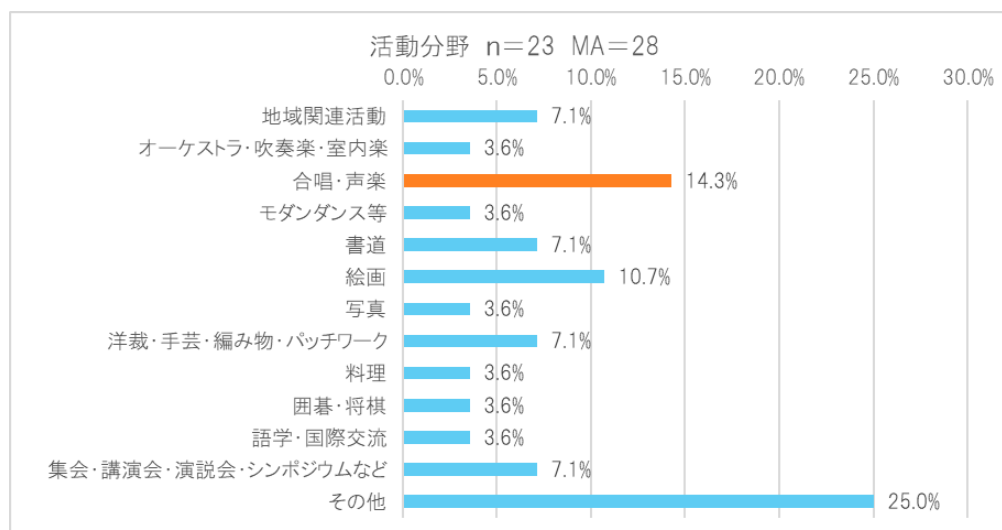


<その他回答>

・国際親善、NPO

② あなたの所属する団体の活動は、以下のいずれの分野ですか？【3つまで選択可】

「合唱・声楽」が14.3%で最も割合が高く、次いで「絵画」が10.7%となっている。また、「その他」の回答割合が大きい。軽運動から様々な生涯学習活動まで意見が分かれており、特定の傾向はみられない。

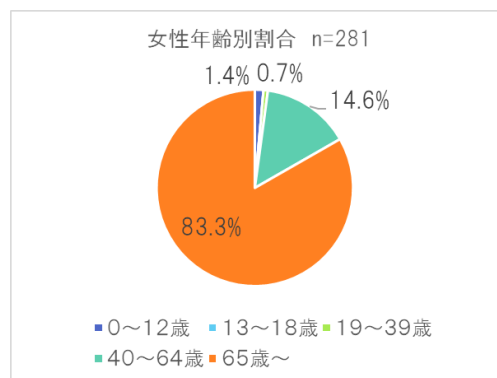
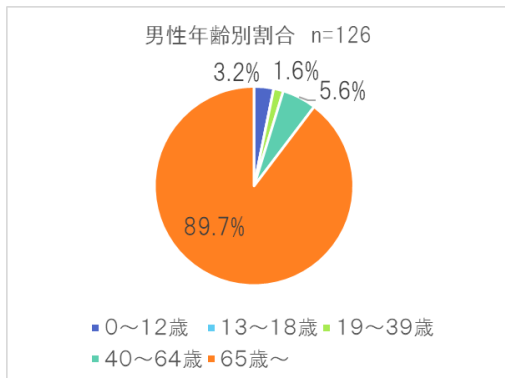


<その他回答>

・ハイキング ・吹き矢 ・ペン習字 ・ヨガ ・エッセイ執筆 ・相撲甚句

③ あなたの所属する団体の参加者の性別・年齢層についてお答えください。

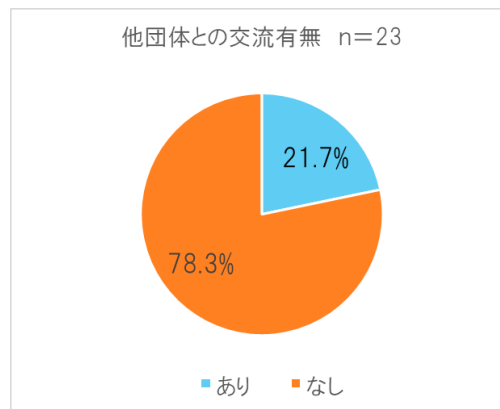
男女ともに 65 歳以上の割合が圧倒的に高い。



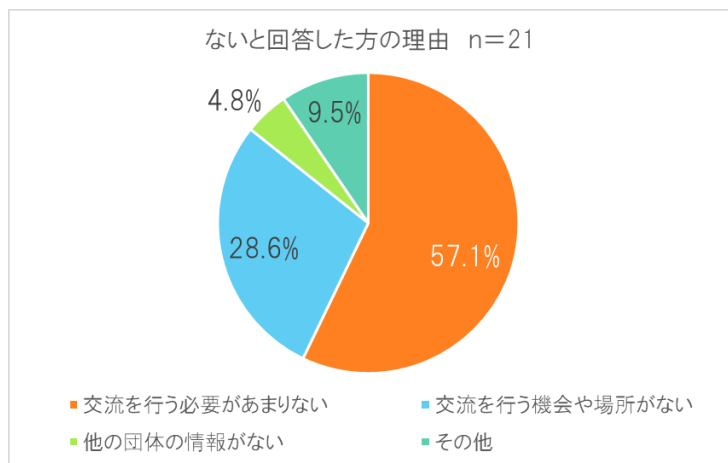
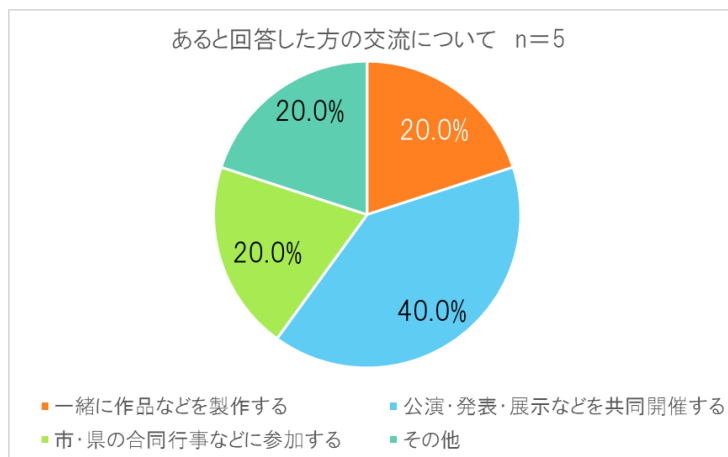
④ 現在、定期的・継続的に交流のある団体やグループはありますか。

交流があると回答したのは約2割程度となっている。

交流のある団体 グループ有無	数値	割合
あり	5	21.7%
なし	18	78.3%
合計	23	100.0%



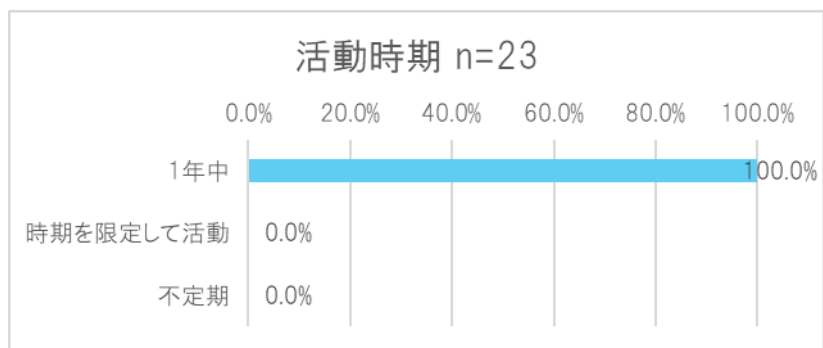
「ある」と回答した方の交流については、「公演・発表・展示などを製作する」が 40.0%と最も割合が高く、「ない」と回答した理由は、「交流を行う必要があまりない」が最も割合が高い。



3) 練習・稽古・創作などの活動について

① 活動の時期について1つ選んでください。

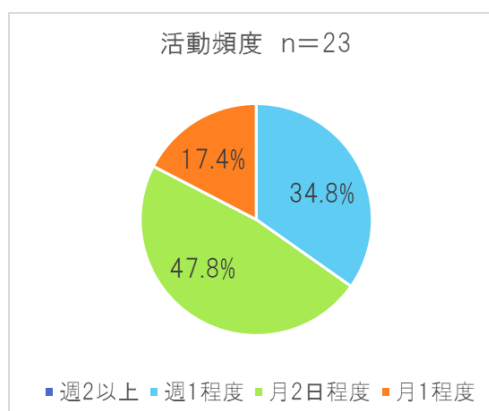
全ての団体が1年中活動しているとのことだった。



② 活動の頻度について1つ選んでください。

「月2日程度」が47.8%と最も割合が高く、「週1程度」が34.8%と続いている。

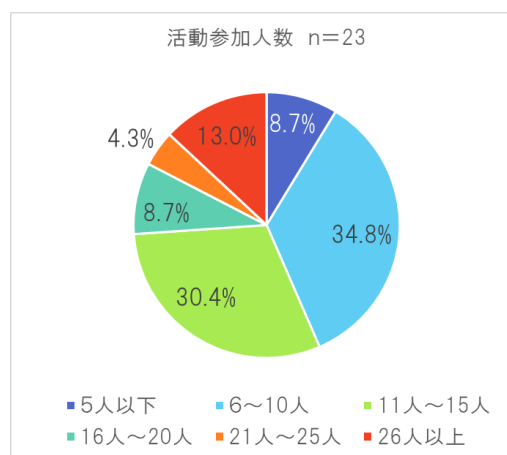
活動頻度	数値	割合
週2以上	0	0.0%
週1程度	8	34.8%
月2日程度	11	47.8%
月1程度	4	17.4%
合計	23	100.0%



③ 練習・稽古・創作・会議などの活動への参加人数は1回あたり何人くらいですか。

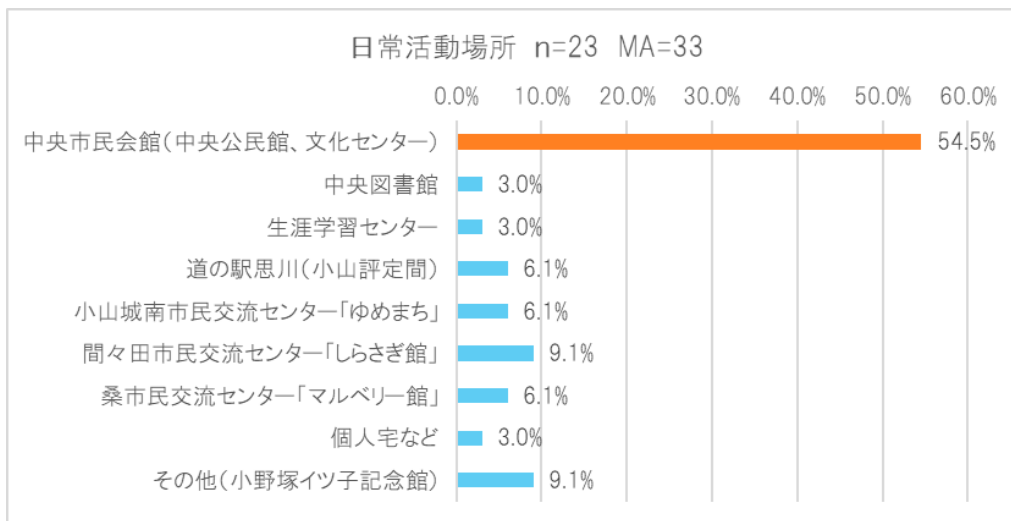
「6～10人」が34.8%、「11～15人」が30.4%と、15人以下の少人数の活動が全体の6割以上を占めている。

活動参加人数	数値	割合
5人以下	2	8.7%
6～10人	8	34.8%
11人～15人	7	30.4%
16人～20人	2	8.7%
21人～25人	1	4.3%
26人以上	3	13.0%
合計	23	100.0%



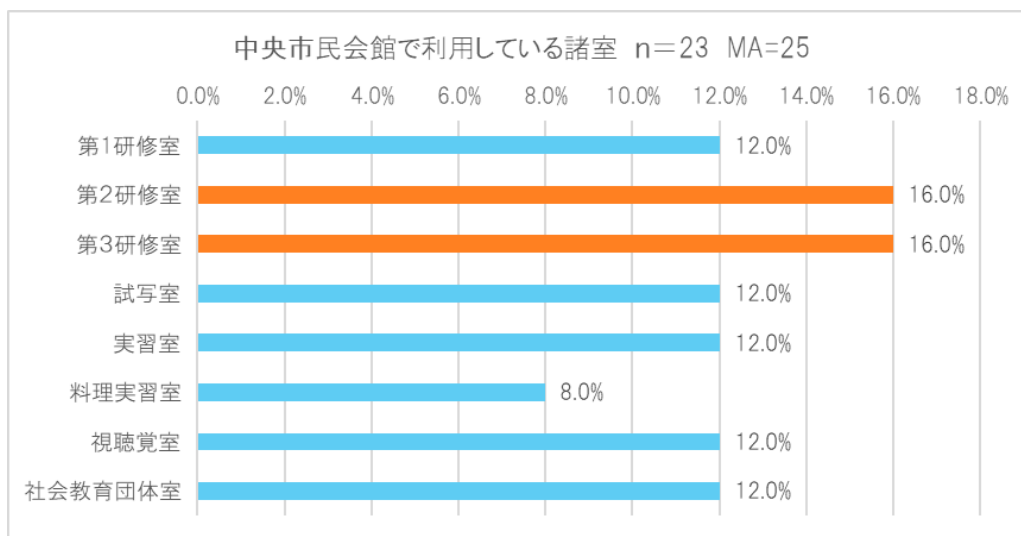
④ 日常活動に使用している場所は主にどこですか。【複数回答可】

「中央市民会館」が54.5%と圧倒的に割合が高く、そのなかでも「第2研修室」「第3研修室」が最も利用されている。



<その他回答>

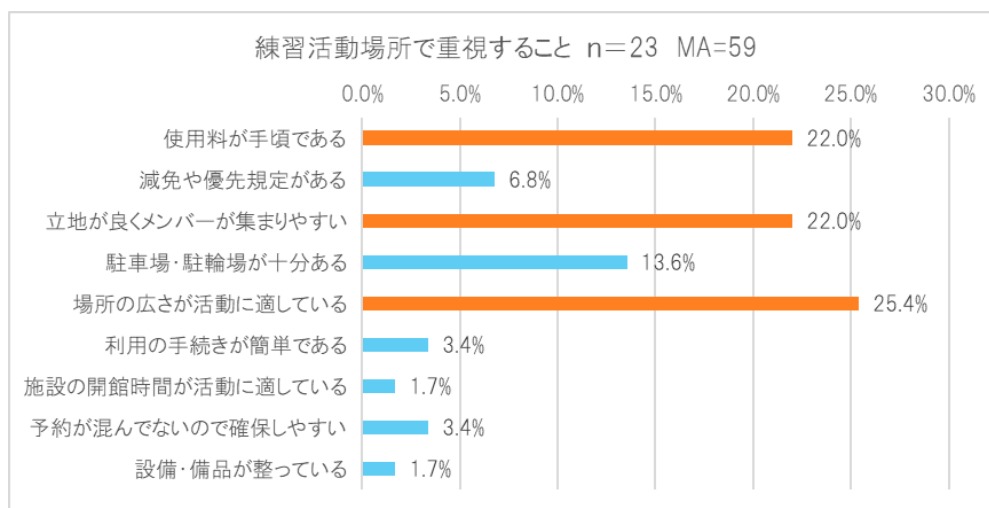
・小野塚イツ子記念館(2)



⑤ 練習等の活動場所について次のことをどの程度重視していますか。【3つまで回答可】

「場所の広さが活動に適している」「使用料が手頃である」「立地が良くメンバーが集まりやすい」と回答された団体が多い。市民アンケートで最多回答となった「駐車場・駐輪場が十分ある」は4番目に多い回答となった。

それ以外の回答では、ピアノに関する意見が2件、室内環境(防音、気温等への対応)が整っていること、道具を保管してもらえらること等が挙げられており、活動環境の整備や対応を求める意見がみられた。



<その他回答>

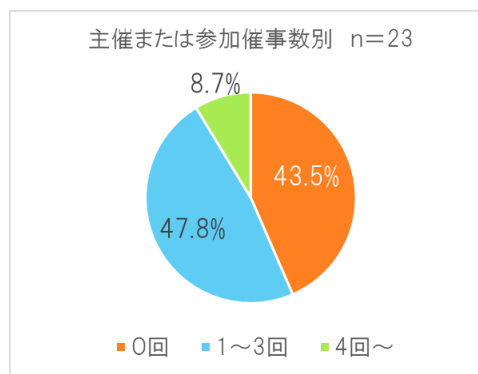
- ・ピアノがあること(2)
- ・室内環境(防音、気温等への対応)
- ・道具を保管してもらえらること

4) 発表・公演・展示などの活動について

① 貴団体が主催又は参加した発表・公演・展示などについて場所、入場者数をお答えください。(令和4年4月～令和5年3月の1年間について)

新型コロナの影響で発表会等が再開できていない可能性も考えられるが、主催または参加催事数は「0回」と回答されている団体が43.5%と半数を占めた。「1～3回」が47.8%となっている。催事は100人以下から500人程度がほとんどであり、会場は中央市民会館の利用が多い結果となっている。

主催又は参加した発表・公演・展示などの催し物回数	数値	割合
0回	10	43.5%
1～3回	11	47.8%
4回～	2	8.7%
合計	23	100.0%

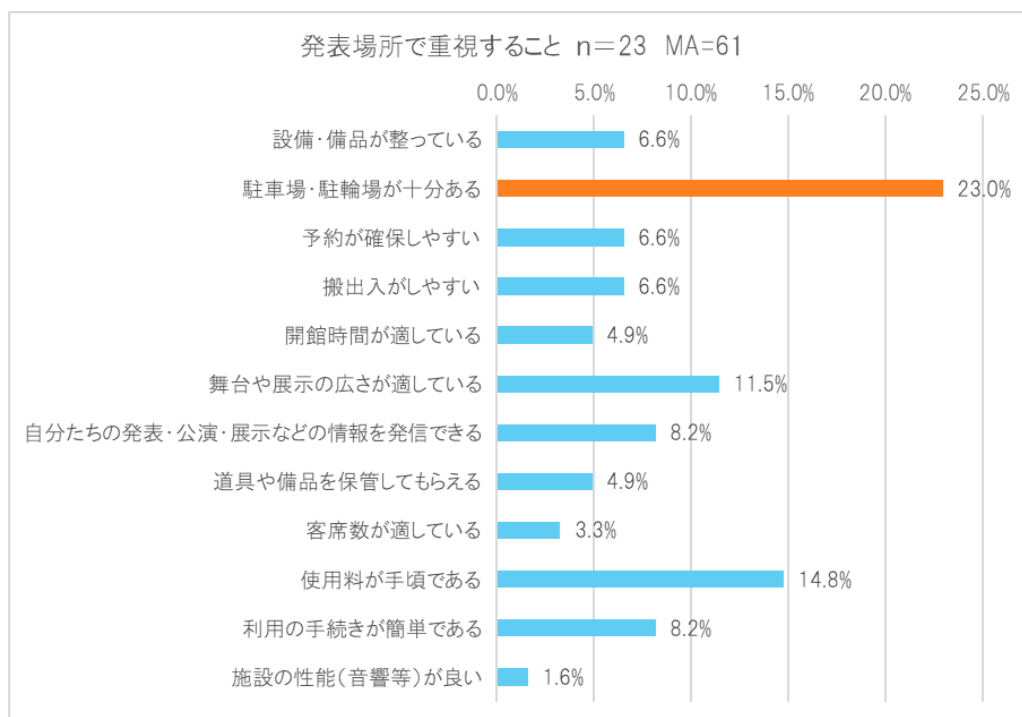


催事	入場者数	開催施設	諸室名
定例会(月2回)	100人以下	中央市民会館(中央公民館、文化センター)	第3研修室
外国人親子の高校進学ガイダンス	100人以下	小山城南市民交流センター「ゆめまち」	小ホール
交流会(年数回)	100人以下	桑市民交流センター「マルベリー館」	
公民館まつり	101～300人 301～500人	中央市民会館(中央公民館、文化センター)	大ホール
小山市民文化祭音楽祭	101～300人	中央市民会館(中央公民館、文化センター)	小ホール
市民文化祭	301～500人	中央市民会館(中央公民館、文化センター)	
合同展	501人～800人	道の駅思川(小山評定館)	大ホール

② 発表場所について次のことをどの程度重視していますか。【複数回答可】

「駐車場・駐輪場が十分ある」が 23.0%と最も割合が高く、次いで「使用料が手頃である」が 14.8%となっており、これは市民アンケートの結果と合致している。練習場所には活動規模に合った施設や使用料が重視されたが、発表場所は来場者の来やすさに配慮すると、市民アンケート同様に車でのアクセスが重視されるとみられる。

「その他」回答でも、同様に使用料や立地環境への意見が挙がっている。



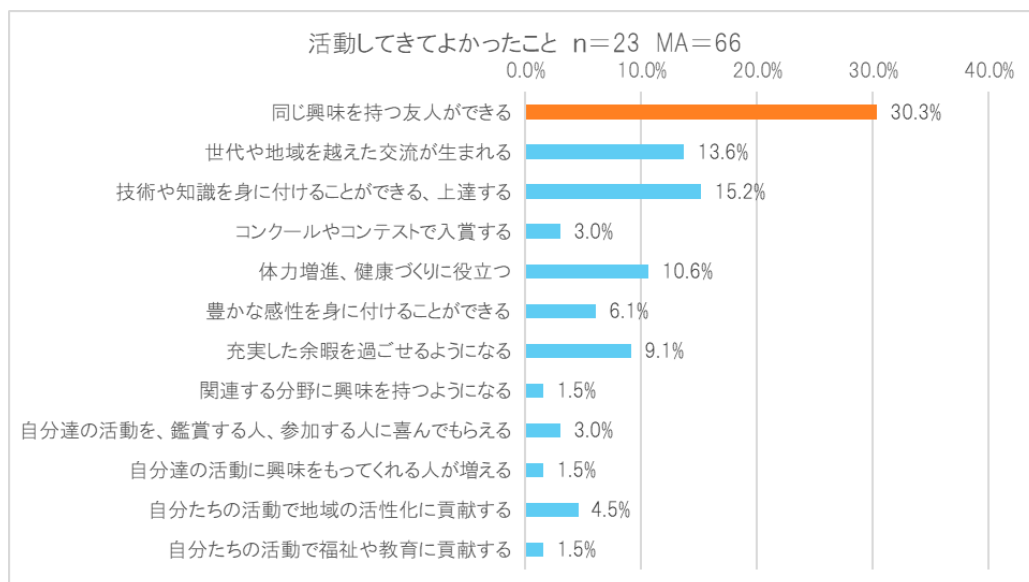
<その他回答>

- ・使用料が無料(2)
- ・お客さんが来場しやすい立地

5) 活動を続けていく上で望むこと

① これまで活動をされてきた中で、良かったと思うこと、今後取り組んでいきたいことは何ですか。【「これまで」「これから」それぞれ3つまで回答可】

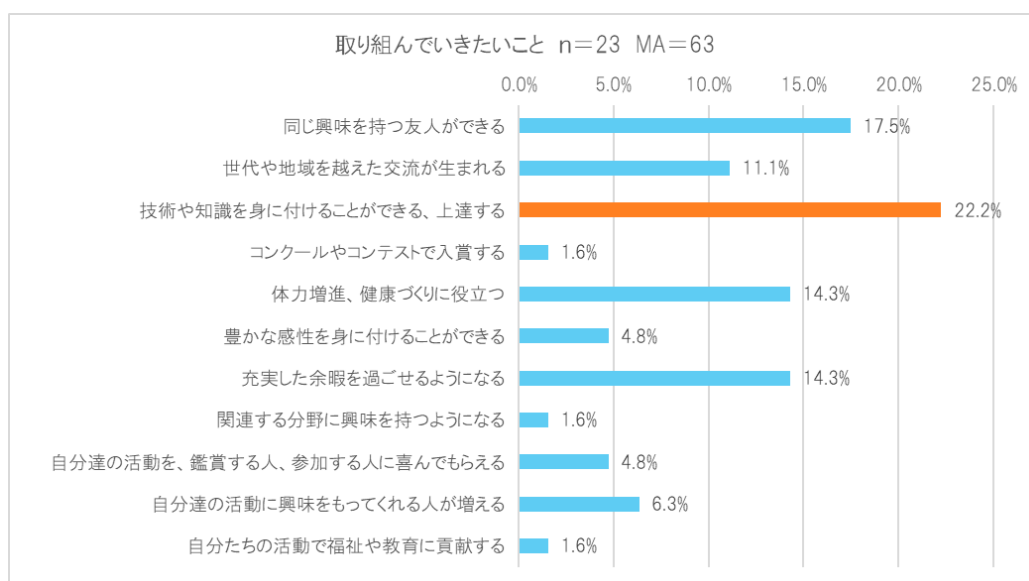
これまで活動してきてよかったことについては、「同じ興味を持つ友人ができる」が30.3%と最も割合が高い。市民アンケートの主な活動目的の回答とも合致している。



<その他回答>

・皆で楽しめる

今後取り組んでいきたいことについては、「技術や知識を身に付けることができる、上演する」が22.2%と最も割合が高い。

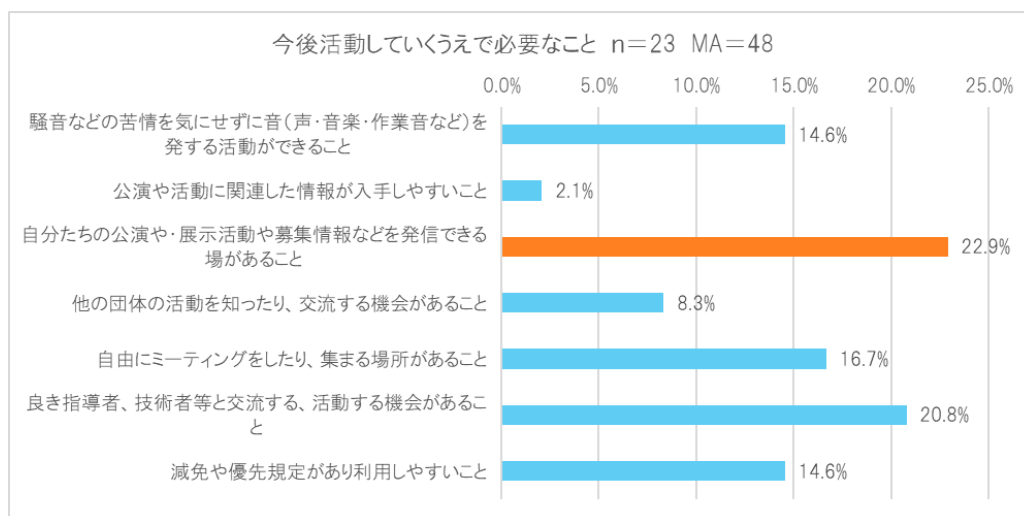


<その他回答>

- ・事務仕事のできる若者との交流
- ・会員の平均年齢を下げたい

② 今後活動をしていく上で必要なことはなんですか。【3つまで回答可】

「自分たちの公演や展示活動や募集情報などを発信できる場があること」が 22.9%と最も割合が高く、「良き指導者、技術者等と交流する、活動する機会があること」が 20.8%と続いている。



<その他回答>

回答なし

③ 今後活動していく上で、困っていることがあれば自由にお書きください。

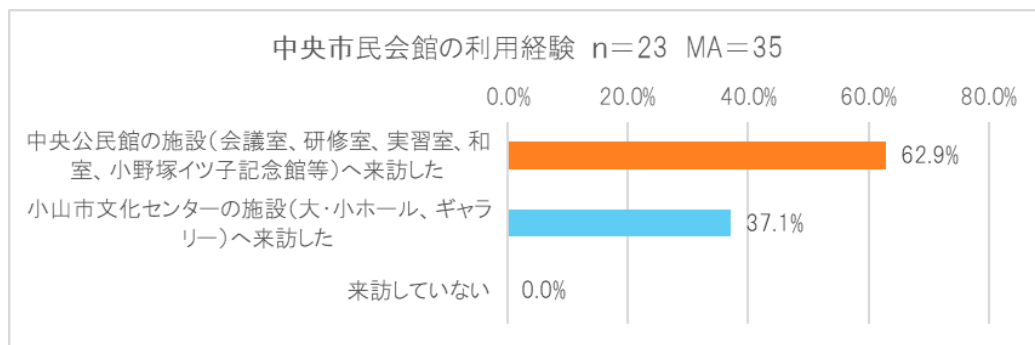
「今後取り組んでいきたいこと」の自由記述にもあるように、会員の高齢化へのご意見が多く、問題視されている。

- ・会員の高齢化(3)
- ・駐車場からの移動が困難

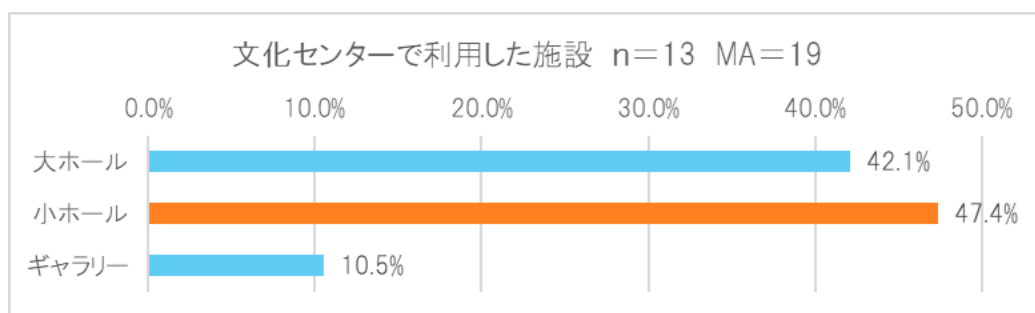
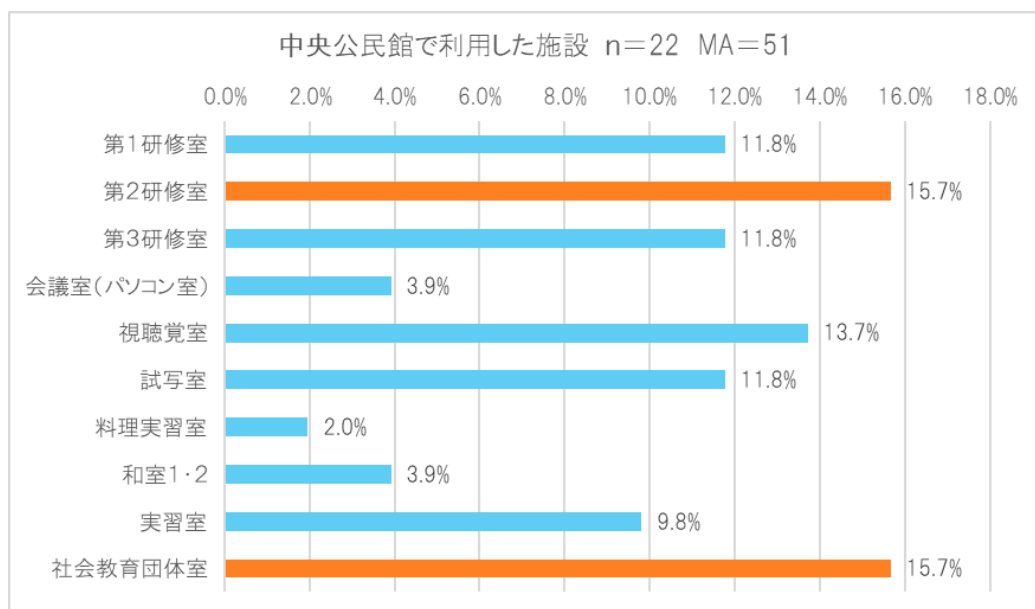
6) 中央市民会館(中央公民館、文化センター)について

① これまでに中央市民会館(中央公民館、文化センター)を利用したことはありますか。

「中央公民館の施設へ来訪した」が6割を超えている。

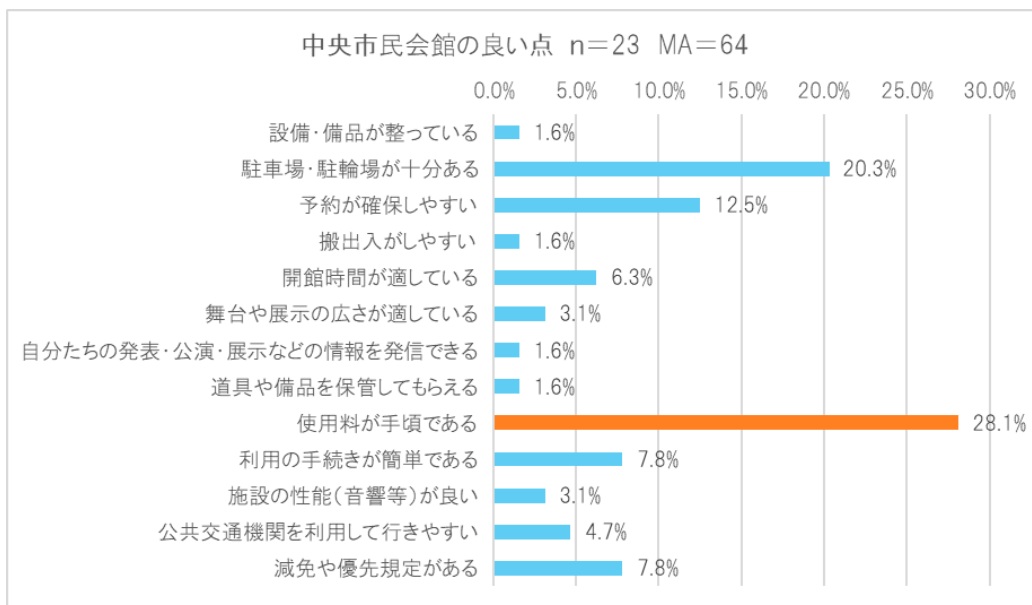


中央公民館で利用した施設は、「第2研修室」「社会教育団体室」の割合が高くなっている。



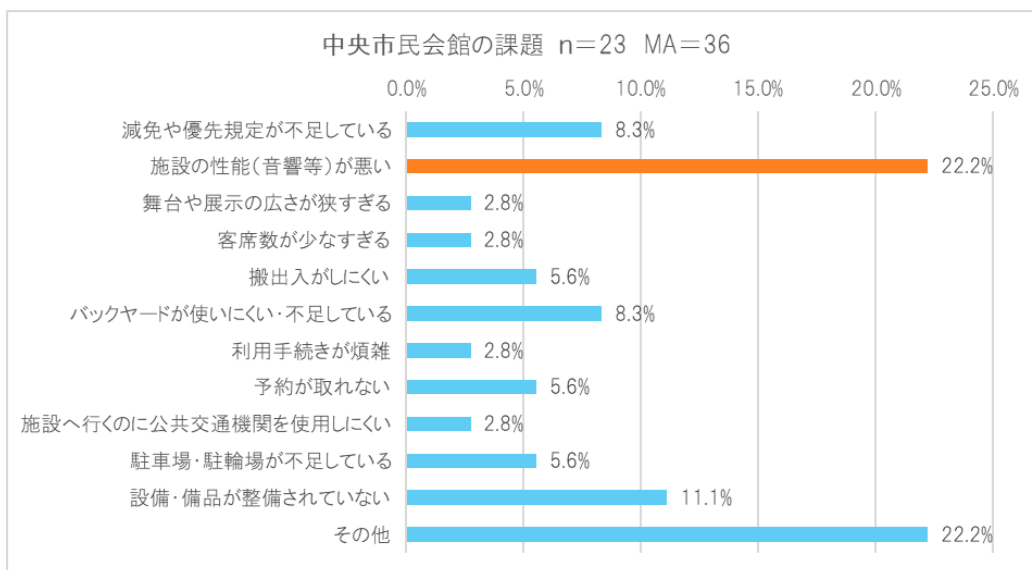
② 中央市民会館(中央公民館、文化センター)の良いとお考えになる点を以下から選択してください。(複数選択可)

「使用料が手頃である」が 28.1%と最も割合が高く、「駐車場・駐輪場が十分ある」が 2 番目に高い結果となっている。



③ 中央市民会館(中央公民館、文化センター)の課題とお考えになる点を以下から選択してください。(複数選択可)

「施設の性能(音響等)が悪い」が 22.2%と最も割合が高い。その他回答においても、施設機能に関する課題が挙げられている。



<その他回答>

・室内環境が悪い(3) ※換気、明るさ、不衛生

- ・トイレが不便(2) ※洋式トイレの不足、バリアフリー化
- ・駐車場からのアクセスの悪さ

④ 新しい施設に対して期待することを(施設面・運営面)をお聞かせ下さい。

これまでの設問での回答にもあったように、施設設備の不具合等を解消することを期待するご意見が多くみられた。

- ・トイレの整備(4) ※バリアフリー化、清潔さ、広さ
- ・談話スペース設置(2)
- ・予約しやすさ(2) ※ネット予約、窓口に椅子と机設置
- ・室内環境整備(5) ※換気しやすさ、窓のある部屋、快適さ、老朽化対策、安心安全
- ・諸室設備(3)
- ※使用者の意見を反映した設備(料理実習室)、環境配慮、土足厳禁の部屋
- ・ギャラリー ※常設展示できる、展示しやすさ
- ・ホール設備(2)
- ※音響、使いやすいオーケストラピット、大道具の移動しやすさ
- ・公演ジャンルの充実
- ・車以外のアクセス方法の充実 ※バス
- ・駐車場整備(2) ※駐車場までの道にスロープ設置

(3) ヒアリング調査

- 1) 文化芸術団体 … 省略
- 2) 連携協定の学校 … 省略
- 3) プロモーター … 省略

(4) 市民ワークショップ

1) 調査概要

回	開催日程	テーマ	参加者数
1	令和5年9月23日(土)	小山市のまちじまん・文化じまんから施設の将来像を考えてみよう!	30名
2	令和5年10月21日(土)	新市民会館でどんなことをやってみたい?	24名
3	令和5年11月18日(土)	「新市民会館に必要な機能を考えてみよう!	25名
4	令和5年12月16日(土)	市民参加について考えよう!	27名

2) 各回の結果

① 第1回 小山市のまちじまん・文化じまんから施設の将来像を考えてみよう!



新たな施設の将来像として、アクセスしやすい立地環境や誰もが利用できる、利用しやすい施設であることを求める意見が挙がった。また、市民の居場所となり、日常的な賑わいが生まれる、小山市らしく小山市全体をけん引する文化施設が必要とされている。

将来像	内容
立地・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・駅や他施設との連携 ・駅の求心力向上 ・車以外でのアクセス方法充実 ・北関東のハブ化 ・イベント後の回遊性向上
事業・イベント	<ul style="list-style-type: none"> ・多様なイベント開催 ・首都圏からの集客目指す ・事業への参加機会増やす
まちとのつながり	<ul style="list-style-type: none"> ・まちの楽しさを繋ぐ、まちと一体 ・まちなか劇場 ・観光の中心に
情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・施設利用の手引き発行 ・市外来場者向けのPR
使いやすさ	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット環境整備 ・DX化 ・複合施設化 ・市民みんなが利用しやすい ・わかりやすい案内表示
居場所・賑わい	<ul style="list-style-type: none"> ・色んなひとの居場所 ・学生の集まる場、自習室

	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に過ごせる ・用事がなくとも訪れたいくなる ・常にひとがいて賑わっている
誰もが利用できる	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い利用者 ・多言語対応 ・サポートの選択肢拡充 ・親子室や車椅子スペース設置 ・バリアフリー化 ・子育て世代のための場
文化振興	<ul style="list-style-type: none"> ・文化のターミナル ・ハンドベルやオペラ等活発な文化活動 ・高齢でも活動できる
小山らしさ	<ul style="list-style-type: none"> ・渡良瀬遊水地や思川等小山の景色を活かしたデザイン ・ビオトープ等自然を導入 ・伝統工芸や豊かな歴史 ・話題性のあるモニュメント設置 ・地産地消レストラン ・小山のじまんになる
市民目線・市民参加	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が運営に携わる ・市民団体が気軽に使える
安心安全	<ul style="list-style-type: none"> ・安心安全に使える ・災害時の避難場所
ルール	<ul style="list-style-type: none"> ・使用規則の柔軟性 ・自由度の高い利用
機能・設備	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い利用用途に対応したホール ・複数のホール施設で幅広い利用用途に対応 ・カフェやレストラン ・コンベンション機能 ・音響の良さ ・広いリハーサル室 ・電動型オーケストラピット ・開放的 ・最先端

② 第2回 新市民会館でどんなことをやってみたい？



新たな施設の事業や活動として、ホールやギャラリーでは、多様なジャンルの舞台芸術やアート作品に触れる機会を求める意見や、市民の活動の成果発表の場として使用したいという意見が挙げられた。活動諸室では、各種講座やワークショップ等市民が気軽に参加できる事業が

求められている。

施設全体として、子どもや若者を対象とした事業の拡充や多世代・多文化交流を促進する事業、文化芸術の担い手を育成する事業が求められている。さらに、施設にとどまらずまち全体を巻き込んだ屋外イベントや地域連携事業を望む声も多い。

場所	目的	内容
ホール	鑑賞・体験	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサート ・オーケストラ演奏会 ・オペラ、ミュージカル、バレエ、古典芸能、落語 ・講演会、学会、説明会、大会 ・映画鑑賞会 ・学校の芸術鑑賞会
	展示・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ミュージカル ・市民第九演奏会 ・吹奏楽部の定期演奏会 ・市内学校合同学園祭 ・お遊戯会
	参加・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・剣道講座
	普及・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・バックヤードツアー ・若手アーティストの登竜門となるコンテスト ・ピアノ開放
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・駅まで連携した音楽フェス
	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・親子向け体験型音楽フェス
ギャラリー	鑑賞・体験	<ul style="list-style-type: none"> ・絵画展、工芸展、美術展
	展示・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・アート作品のプロジェクションマッピング ・市民作品展 ・鉄道ジオラマ展示 ・写真コンテスト、絵画コンクール
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・市内地図に市民の風景写真をプロット展示
活動諸室	参加・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動 ・夜間講座 ・料理教室 ・プログラミング、PC 講座 ・海外とのオンライン交流 ・お茶会 ・手話カフェ ・軽体操、マッサージ ・市民協働で作品作り上げ成果展示 ・移住者、定住者交流会
	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい児親の集まる座談会
	若者利用	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生向け工作、プログラミングワークショップ ・子ども伝統工芸ワークショップ ・ファブスペース
共用部	鑑賞・体験	<ul style="list-style-type: none"> ・エントランスにてインスタレーション

	参加・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジネスマッチング ・サードプレイス、居場所 ・椅子、机のある開放されたロビー ・ヘルスコーナー
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・市内学校便りの掲出 ・常設の小山ブランド商品提供の場
	若者利用	<ul style="list-style-type: none"> ・自習、ワーキングスペース
外部空間	鑑賞・体験	<ul style="list-style-type: none"> ・イルミネーション点灯式
	参加・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・青空図書館 ・青空ヨガ ・焼き窯使った工芸体験 ・育てたコキアで箸づくり&清掃活動 ・デイキャンプ、ピクニック、蚤の市 ・盆踊り、夏祭り
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・思川でサイエンス体験 ・地産地消オーガニックフェス ・市内巡るマラソン ・花火大会と連携 ・まちのあちこちに舞台 ・避難訓練と連携した芋煮会
	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと運動会参加
	若者利用	<ul style="list-style-type: none"> ・若者企画フェス
施設全体	展示・発表	<ul style="list-style-type: none"> ・サークルフェス
	参加・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・市民放送局 ・市出身アーティストの拠点
	普及・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・小山の歴史アテンド育成 ・事業企画者、団体の育成
	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の盛り上げ役 ・小山を知り、小山で育てたいことを発見する場所に ・プロジェクションマッピングで市のPR ・空き家滞在に繋げる
	子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> ・フリースクール ・保育施設 ・親が見守りながら子どもが遊ぶ
	若者利用	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み中の居場所 ・部活動の受け皿 ・全館利用の子どもがまちをつくるイベント
飲食の場	地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消レストラン ・こども食堂 ・福祉施設とカフェレストラン
図書館	参加・交流	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館で絵本の読み聞かせ会 ・ブックカフェ ・100分 de 名著 Book 講座

③ 第3回「新市民会館に必要な機能を考えてみよう！」



新たな施設に望む機能・設備として、プロの公演に対応した電動式オーケストラピット付き大ホール、市民活動で利用しやすい多目的利用もできる中・小ホールといった客席規模の異なるホールを求める意見が挙げられた。ホール付帯機能としては、楽屋数の充実やリハーサル室、楽器庫や使いやすい倉庫が必要とされている。また、プロ・アマチュアを問わない展示利用に対応したギャラリーを求める声も多くみられた。

活動諸室では、現施設で不足している防音機能付き練習室を求める意見がみられたほか、会議室、料理室、工作室、視聴覚室といった、現在の中央公民館同等の施設を引き続き利用したいという意見も挙げられた。

施設全体としては、バリアフリー対応や快適に過ごすための空調設備、インターネット環境が求められているほか、イベントのない日も人の集まるフリースペースやカフェ、コンセント付き作業スペースの拡充や図書館機能も求められている。また、託児所といった子育て支援機能を期待する声もある。

場所	設備・機能・用途	内容
ホール	音響設備	・生音に対応
	電動型オーケストラピット	・オペラで利用
	多様な客席規模	・ミニコンサート用 500 席 ・中ホール 800 席、小ホール 300 席と目的別に多様な客数規模ホールを
	市民が使いやすい	・バックヤードのバリアフリー ・市民の発表の場所として小ホール
	興行利用	・人気アーティストの公演を呼べる 1,500 席以上
	バリアフリー	・ホールまでのエスカレーター設置 ・字幕サポート
	伝統芸能	・能舞台、定式幕
	多目的利用	・コンベンション機能担えるよう 1,000 m ² 以上 ・展示会利用できる
	子育て支援機能	・親子室
ホール付帯機能	・楽屋数の充実 ・シャワー室の設置 ・鏡のあるリハーサル室の設置 ・楽屋と舞台までの距離 ・備品の移動のしやすさ	

ギャラリー	市民文化祭	<ul style="list-style-type: none"> ・楽器庫 ・気軽に作品に触れられる ・創作意欲の創出
	常設展示スペース	<ul style="list-style-type: none"> ・小山の伝統工芸品展示 ・市内情報が集まる場
	照明設備	<ul style="list-style-type: none"> ・プロの作品展示に対応
	エンターテインメント性	<ul style="list-style-type: none"> ・バーチャルとリアルが融合
	天井高	<ul style="list-style-type: none"> ・プロの作品展示に対応
活動諸室	練習室	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の活動拠点 ・多様な規模の練習室 ・防音機能
	会議室、研修室	<ul style="list-style-type: none"> ・20～100人規模 ・自習、集団で教え合う
	市民活動の場	<ul style="list-style-type: none"> ・料理室 ・工作室 ・視聴覚室
	市民が使いやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・時間貸 ・更衣室 ・換気のできる環境 ・活動の様子が外から見える
その他	情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・市民による配信コーナー ・市内情報発信コーナー、アンテナショップ ・イベント情報発信、チケット販売
	日常利用	<ul style="list-style-type: none"> ・コンセント付き作業スペース ・フリースペース ・気軽に集えるカフェ、レストラン ・市民交流スペース
	子育て支援機能	<ul style="list-style-type: none"> ・キッズスペース ・託児所 ・相談コーナー
	図書館機能	<ul style="list-style-type: none"> ・作業スペース ・まちなか図書館
施設全体	立地環境	<ul style="list-style-type: none"> ・訪れやすい立地 ・駐車場整備 ・夜間照明
	エンターテインメント性	<ul style="list-style-type: none"> ・建物全てアート空間、映えるスポット化 ・外観にプロジェクションマッピング ・ライブできるカフェ、レストラン
	まちとの連続性	<ul style="list-style-type: none"> ・屋外イベントからの流れ ・まちと施設との一体化
	バリアフリー	<ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザイン ・トイレ整備
	ネット環境	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーWi-Fi
	小山らしさ	<ul style="list-style-type: none"> ・文化を伝えるデザイン

④ 第4回 市民参加について考えよう！



新たな施設との関わり方として、まずは鑑賞者・体験者として関わりたいという意見がある一方で、運営サポートスタッフや出演者・指導者、企画推進役としてより一歩踏み込んだ関わり方を望む声も多くみられた。

市民参加にあたっては、本ワークショップのように開館前から施設への意見を出し合えたり、活動に参加できたりする場を継続して設けてほしいという意見が挙がった。

また、市民参加のためのスタッフ育成事業の実施、市内大学や飲食店、他分野イベント等地域内連携を期待する声も挙がっていた。

時期	施設との関わり方の形態	内容
閉館前	鑑賞者・体験者	<ul style="list-style-type: none"> ・緞帳デザイン、マスコットキャラクター愛称募集 ・説明会、パネル展示、ポスター掲出、広報誌配布 ・解体～建設のドキュメントドラマ ・カウントダウンイベント ・解体前落書きイベント、仮囲いアートペイント ・備品放出オークション、記念品販売 ・現場見学会 ・開館後も意見を反映すべく学習会、視察会 ・これまでやってきたイベントを復活
	出演者・指導者	<ul style="list-style-type: none"> ・さよならイベントで発表
	事業企画・推進	<ul style="list-style-type: none"> ・イメージソング作曲 ・イベントポスターデザイン ・市民 PR チーム結成、開館記念誌制作 ・さよならイベントの運営実行委員 ・プレイベント企画
	連携	<ul style="list-style-type: none"> ・企業連携 ・市内専門家との連携 ・おーらじ、小山テレビで情報発信
開館後	鑑賞者・体験者	<ul style="list-style-type: none"> ・オープニングイベント ・作業スペース利用 ・フラットと訪れ交流 ・開館後も継続したワークショップ ・小山の情報発信コーナー、SNS で情報収集 ・各種イベント、各種公演 ・多様なひとに向けたイベントで交流が生まれる ・フリーピアノ

	<ul style="list-style-type: none"> ・安価な施設利用料 ・避難所体験 ・郷土学習 ・小山の歴史をプロジェクションマッピング ・スタッフ育成 ・友の会
サポートスタッフ	<ul style="list-style-type: none"> ・清掃ボランティア活動 ・イベント当日運営ボランティア登録 ・障がい者、子育て世代のイベント参加補助 ・学生の学びサポート ・小学生からサポートスタッフに
出演者・指導者	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き演奏会参加 ・市民文化祭 ・サークル活動 ・各々の得意分野で講師登録 ・オペラの練習 ・作品展示
事業企画・推進	<ul style="list-style-type: none"> ・高校、大学生が運営の中心となるイベント ・講座テーマ案出し、イベント企画 ・ものづくりスペース運営、市民運営ブース ・運営実行委員 ・出演者のネットワークづくり
連携	<ul style="list-style-type: none"> ・白鷗大学とリンク ・他イベントとのコラボレーション ・市内企業、飲食店との協賛イベント

(5) オープンハウス

1) 開催概要

開催場所	開催期間	参加者数
庁舎 3 階保健センター	2023 年 12 月 8 日(金)PM(3 歳児健診開催時)	37 名
小山市子育て支援 総合センター すまいる (城山・サクラ・コモン 2 階)	2023 年 12 月 8 日(金)～12 月 16 日(土)	—
小山市立中央図書館	2023 年 12 月 27 日(水)	31 名
小山市生涯学習センター (ロブレ 6 階)	2023 年 12 月 27 日(水)	54 名

2) 結果まとめ

ワークショップで出た意見と比較して、文化施設は主体的に活動を行う場というよりも、鑑賞の場であると認識している人が多い傾向にあった。また、世代を問わず、質の高い鑑賞経験、気軽な体験・参加機会が必要とされている。

生涯学習センターで参加された中高年齢層の方々には、興行やオーケストラなど大規模な公演の鑑賞を期待する声が多くみられた。

庁舎3階保健センターや小山市子育て支援総合センターすまいるで特に参加が多かった子育て世代は、子どもと一緒に様々な鑑賞、体験をする機会や日常的に時間を過ごせる場を求めている。

学生は自習スペースを目的として施設へ来訪している方が多いことから、学習スペースを求める意見が多く挙げられた。また、市内では学習スペースの不足を感じており、スペースの拡充を期待されている。

生涯学習センターではヨガ活動者が多かったことから、同様の健康増進の活動が良い環境で行える場所を望む意見が多く見られた。

そして、カフェや飲食ができる場を求める意見が全ての施設において挙げられた。

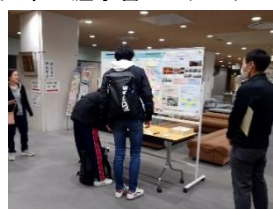
庁舎 3 階保健センター



小山市立中央図書館



小山市生涯学習センター(ロブレ 6 階)



小山市子育て支援総合センターすまいる



	ホール	ギャラリー	練習・創作	その他	
庁舎3階保健センター	子ども鑑賞 ・講演会をたくさんしてほしい ・映画館(プロジェクターを扱ってできればOK) ・子どもの発表会 ・子どもの発表会等 ・子ども対象ピアノコンクール	音楽ライブ等 ・アンパマンミュージカル ・子ども向け映画 ・バレエ、コンサート、ミュージカル	参加 ・小学生の作品展示する場所 ・幼稚園児等子どもの作品を飾る場所	機能 ・1人でも使える防音室 ・eスポーツスペース ・コメント付き作業スペース	子育て世代のための場 ・予約所 ・未就学用のキッズランド ・「小山といえば」ここという場所、アクティビティ ・無障がいハイスペース ・屋上に遊具、子どもが動き回れるスペース ・子どもを自由に遊ばせながら親も休めるスペース ・駐車場が広いといい ・バスターミナル ・ベビーカーで来やすい ・フェスできる屋外イベントスペース ・ビアガーデン
	機能 ・商業施設の中にセミナーホールを ・利用機能のあるライブ施設	・管絃専門ホール	・管絃専門ホール	・折紙教室 ・よみかかせ会 ・楽器演奏イベント ・親子でクッキングスタジオ ・文化芸術の体験の場 ・色々な楽器を弾いてみたい	・日本語教室 ・屋内に大型遊具 ・アクセス ・駅近、電車沿いの交通手段を使わない ・連絡をするのを周知(今日初めて知った) ・カフェ併設 ・フードコートのようなみんなで集まれる場所 ・お茶やランチできるお店(子連れOK) ・小山市民が誇りに思える外観デザイン ・屋外プール、ジム
	機能 ・オーケストラを呼ぶことのできるホール ・ホールステージの音が響かない	・多目的ホール ・人口減にも対応できるホール ・可動席でイベントごとに変える	参加 ・まちかど美術館のように個人作品を発表	講座 ・単1物ワークショップ ・練習 ・家でできない楽器練習が気軽にできる	子育て世代のための場 ・子どもと一緒にOK ・子どもといっしょに遊びたい、キッズスペース ・子供と食事できる場所 ・お茶やランチできるお店(子連れOK) ・小山市民が誇りに思える外観デザイン ・屋外プール、ジム
	鑑賞 ・映画が観たい(5歳児より)	・映画が観たい(5歳児より)			・座高門寺のような市民会館 ・安価で借りられる ・先を見込んだ建物
	機能 ・オーケストラを呼ぶことのできるホール ・ホールステージの音が響かない	・多目的ホール ・人口減にも対応できるホール ・可動席でイベントごとに変える	参加 ・まちかど美術館のように個人作品を発表	講座 ・単1物ワークショップ ・練習 ・家でできない楽器練習が気軽にできる	子育て世代のための場 ・子どもと一緒にOK ・子どもといっしょに遊びたい、キッズスペース ・子供と食事できる場所 ・お茶やランチできるお店(子連れOK) ・小山市民が誇りに思える外観デザイン ・屋外プール、ジム
	機能 ・オーケストラを呼ぶことのできるホール ・ホールステージの音が響かない	・多目的ホール ・人口減にも対応できるホール ・可動席でイベントごとに変える	参加 ・まちかど美術館のように個人作品を発表	講座 ・単1物ワークショップ ・練習 ・家でできない楽器練習が気軽にできる	子育て世代のための場 ・子どもと一緒にOK ・子どもといっしょに遊びたい、キッズスペース ・子供と食事できる場所 ・お茶やランチできるお店(子連れOK) ・小山市民が誇りに思える外観デザイン ・屋外プール、ジム
	機能 ・オーケストラを呼ぶことのできるホール ・ホールステージの音が響かない	・多目的ホール ・人口減にも対応できるホール ・可動席でイベントごとに変える	参加 ・まちかど美術館のように個人作品を発表	講座 ・単1物ワークショップ ・練習 ・家でできない楽器練習が気軽にできる	子育て世代のための場 ・子どもと一緒にOK ・子どもといっしょに遊びたい、キッズスペース ・子供と食事できる場所 ・お茶やランチできるお店(子連れOK) ・小山市民が誇りに思える外観デザイン ・屋外プール、ジム
	機能 ・オーケストラを呼ぶことのできるホール ・ホールステージの音が響かない	・多目的ホール ・人口減にも対応できるホール ・可動席でイベントごとに変える	参加 ・まちかど美術館のように個人作品を発表	講座 ・単1物ワークショップ ・練習 ・家でできない楽器練習が気軽にできる	子育て世代のための場 ・子どもと一緒にOK ・子どもといっしょに遊びたい、キッズスペース ・子供と食事できる場所 ・お茶やランチできるお店(子連れOK) ・小山市民が誇りに思える外観デザイン ・屋外プール、ジム
	機能 ・オーケストラを呼ぶことのできるホール ・ホールステージの音が響かない	・多目的ホール ・人口減にも対応できるホール ・可動席でイベントごとに変える	参加 ・まちかど美術館のように個人作品を発表	講座 ・単1物ワークショップ ・練習 ・家でできない楽器練習が気軽にできる	子育て世代のための場 ・子どもと一緒にOK ・子どもといっしょに遊びたい、キッズスペース ・子供と食事できる場所 ・お茶やランチできるお店(子連れOK) ・小山市民が誇りに思える外観デザイン ・屋外プール、ジム
	小山市立中央図書館	鑑賞 ・渡辺貞夫が演奏するようなコンサートホール ・音楽・演劇・式典/ダンス等多様に使える大ホール	・プロの公演観たい ・ハンドベル演奏会 ・ジャズ観たい	鑑賞 ・美術館のような作品を自由に見られるギャラリー ・周りに緑のある美術館	講座 ・講座参加、仕事体験や就職系 ・講座に参加している趣味づくり ・習物の着付け講座 ・人生を向上させる学びの場 ・高齢者向けの勉強の場を市で開催
参加 ・市民劇が観たい ・20~30人程度の小規模ランチコンサート		・小さい映画会を開催したい ・アニメのコスプレイベント	作品展示しているカフェでホッと一息 ・特設は美術館のような有名な方の展示も見たい	・習物の着付け講座 ・人生を向上させる学びの場 ・高齢者向けの勉強の場を市で開催	・認知症カフェ ・カフェ、交流の場 ・カフェスペース ・喫茶スペース ・学習スペース ・子育て世代のための場 ・キッズランドのような子どもの遊ぶ場所 ・駐車場多め
発表 ・フラダンス、楽器演奏、演劇サークル等の発表		・大ホールでお遊戯会、音楽祭等今後も使いたい	グループ展などが行えるレンタルスペース ・市民の展示(子ども~高齢者までみんなの作品)	・習物の着付け講座 ・人生を向上させる学びの場 ・高齢者向けの勉強の場を市で開催	・認知症カフェ ・カフェ、交流の場 ・カフェスペース ・喫茶スペース ・学習スペース ・子育て世代のための場 ・キッズランドのような子どもの遊ぶ場所 ・駐車場多め
機能 ・楽屋とトイレの充実		・階段なし、バックヤードのバリアフリー化	・市民の展示(子ども~高齢者までみんなの作品)	・習物の着付け講座 ・人生を向上させる学びの場 ・高齢者向けの勉強の場を市で開催	・認知症カフェ ・カフェ、交流の場 ・カフェスペース ・喫茶スペース ・学習スペース ・子育て世代のための場 ・キッズランドのような子どもの遊ぶ場所 ・駐車場多め
機能 ・楽屋とトイレの充実		・階段なし、バックヤードのバリアフリー化	・市民の展示(子ども~高齢者までみんなの作品)	・習物の着付け講座 ・人生を向上させる学びの場 ・高齢者向けの勉強の場を市で開催	・認知症カフェ ・カフェ、交流の場 ・カフェスペース ・喫茶スペース ・学習スペース ・子育て世代のための場 ・キッズランドのような子どもの遊ぶ場所 ・駐車場多め
小山市立生涯学習センター	鑑賞 ・サロンコンサート ・音楽(オーケストラ含)、コンサート、演劇	・ピアノ、声楽のリサイタル増やしてほしい ・良い立地環境が呼びかける場所に	機能 ・大きなギャラリー ・ギャラリーを残してほしい	軽運動 ・体を動かすイベントや教室 ・ムキムキになれるトレーニングルーム	学習スペース ・静かな勉強スペース ・トイレ ・清潔で使いやすい ・城山公園隣駅からの人流で駅前発展 ・建物周辺に公園 ・こだわった建物デザイン ・広い庭場 ・簡易的な更衣スペース ・手荷物 ・コインロッカー
	機能 ・ホール、楽屋を広く使いたく ・大型トラック ・入りやすい搬入口 ・客席ももっと多く ・宇都宮市文化会館のように備えた音響設備	・小規模演奏会向き小ホール ・小ホールも固定席 ・クラシック、アーティスト公演に合わせた音響設備 ・大ホールと多目的ホール、2つ	・ギャラリーをポットライト等アーティストの意見反映 ・写真を投稿するとプロジェクターで壁には写す ・プロ、市民両方の利用に合わせたギャラリー	講座 ・料理、お菓子作り等趣味の講座の充実 ・講座 ・体を動かすイベントや教室 ・ムキムキになれるトレーニングルーム	学習スペース ・静かな勉強スペース ・トイレ ・清潔で使いやすい ・城山公園隣駅からの人流で駅前発展 ・建物周辺に公園 ・こだわった建物デザイン ・広い庭場 ・簡易的な更衣スペース ・手荷物 ・コインロッカー
	機能 ・ホール、楽屋を広く使いたく ・大型トラック ・入りやすい搬入口 ・客席ももっと多く ・宇都宮市文化会館のように備えた音響設備	・小規模演奏会向き小ホール ・小ホールも固定席 ・クラシック、アーティスト公演に合わせた音響設備 ・大ホールと多目的ホール、2つ	・ギャラリーをポットライト等アーティストの意見反映 ・写真を投稿するとプロジェクターで壁には写す ・プロ、市民両方の利用に合わせたギャラリー	講座 ・料理、お菓子作り等趣味の講座の充実 ・講座 ・体を動かすイベントや教室 ・ムキムキになれるトレーニングルーム	学習スペース ・静かな勉強スペース ・トイレ ・清潔で使いやすい ・城山公園隣駅からの人流で駅前発展 ・建物周辺に公園 ・こだわった建物デザイン ・広い庭場 ・簡易的な更衣スペース ・手荷物 ・コインロッカー

3 現中央市民会館の課題の整理

(1) 上位計画との関連

項目	課題・求められる役割・機能
国の現況	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術そのものの活動の向上 ・関連分野と連携し、まちづくりや地域コミュニティづくり、地域や個人の課題解決に寄与する
市の上位・関連計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の主体的な文化芸術活動を促進 ・豊かで活力のある多様な文化の創造 ・小山市の文化芸術の振興 ・心豊かで活気のある暮らしやすい「文化都市小山」 ・エリアコンセプト「大人が遊び、子どもが育つ。」 ・文化ホールは小山駅周辺に立地すべき施設 ・耐震補強及びPFIによる建替えの両面から検討 ・規模の適正化、他施設との複合化

赤文字：運営やまちづくりなど、ソフト的要素を含む内容

青文字：施設・設備に関する内容

(2) 現状調査及び運営者ヒアリングの結果

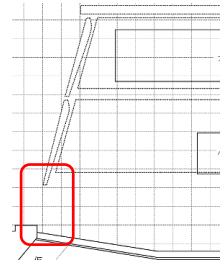
項目	課題・求められる役割・機能	
配置計画	<ul style="list-style-type: none"> ・御殿広場や第一小学校の催し、行事と重複すると駐車場が不足する ・搬入口が通学路に面しており、時間規制がある ・大ホールの搬入口が国道に近く、大型車両の切返しなど不便 	 <p>大ホール搬入口</p>
動線計画	<ul style="list-style-type: none"> ・客席・ホワイエから舞台へのバリアフリーのルートが無く、台車を使った搬入や車いす利用者の舞台への登壇が困難 ・大ホール客席からトイレへのバリアフリー動線が無い ・大ホール客席の車イススペースもリフトを使わないと移動できない ・大ホールの荷捌き動線が悪い ・大ホール搬入口の屋根が低く、プラットフォームへの横付けが困難 ・小ホール客席のバリアフリー動線は問題無い 	 <p>大ホール客席通路</p>  <p>大ホール客席リフト</p>
舞台	<ul style="list-style-type: none"> ・袖舞台が狭い ・大ホールの奥行が狭い ・大ホールの袖幕が8間までしか出せない ・大ホールの舞台の張り出し部分は無くても良い ・大ホールすのこへの仮設は、稀にサーカス系の催事で利用あり ・小ホールの舞台の天井が低いいため照明器具が丸見えで見た目が悪く、看板等も飛び切らない 	 <p>小ホール舞台</p>

舞台設備

【舞台機構】

○大ホール

- ・音響反射板にゆがみが生じている
- ・音響反射板を設置してもプロセニウムとの間に隙間が生じるため、建築音響が悪い(残響が無い)
- ・緞帳利用頻度は高め。第2緞帳は冬に利用多め
- ・サスペンションライトバトンの位置が悪い
- ・美術ボタンは特に看板などを吊る位置周辺に増やしたい
- ・緞帳は空調を入れると煽られるため危険



大ホール音響反射板



大ホール舞台吊物

○小ホール

- ・小ホールの緞帳操作も下手でできると良い

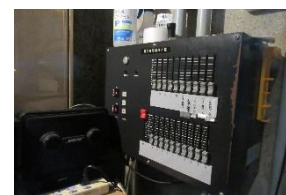


小ホール舞台上手
緞帳操作盤

【舞台照明】

○大ホール

- ・G 球灯体は更新して欲しい
- ・サスペンションライトボタン、大臣(上手・下手袖の前面にある柱)裏等の DMX を使用可能
- ・持込が多く、直電源が足りない
- ・仮設電源盤があるとよい
- ・作業灯切り替えスイッチが袖にも欲しい






大ホール舞台上手
舞台照明操作盤

○小ホール

- ・サスペンションライトボタンが1本しかない
- ・稀にムービング等の持込がある
- ・直電源が欲しい
- ・袖で操作可能にしてほしい

	<p>【舞台音響】</p> <p>○大ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・客席後方にマルチとインカムのコネクタが欲しい ・本卓が使用不可で仮設卓を使用しており、更新が必要 ・音量が出せない ・電源が足りない ・楽屋通路にモニターがない <p>○小ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワイヤレスマイク更新 ・ライブ等で使用する際、音響設備が不足し、音量が出せない ・音響電源が無い <p>【映像】</p> <p>○大ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクターの利用頻度が高く、LED パネルの利用は無い ・プロジェクターは光度が低いため、大ホールで対応可能な性能が必要(リア打ち等ができるとう便利) ・スクリーンの昇降スピードが遅い <p>○小ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・LED パネルが稀に持ち込まれる ・スクリーンが手動なため、電動にしてほしい <p>【電源】</p> <p>○大ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台に C 型 30A ぐらいの直電源、客席後方にも C 型直電源が欲しい ・年に 3~4 回中継利用はあるが中継用電源無し <p>○小ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・C 型 20A または 30A の直電源が欲しい 	 <p>大ホール仮設音響卓</p>  <p>小ホール舞台袖卓</p>  <p>大ホールスクリーン</p>  <p>小ホールスクリーン</p>
<p>楽屋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽屋数の不足 ・換気設備を整えた喫煙所の設置が無い ・大人数収容可能かつ全面鏡張りのリハーサル室があると良い ・シャワー室は大ホールで年 1~2 件程度の利用 	 <p>大ホール楽屋</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・畳は着替えの際に利便性が高い ・電源の不足は無い ・給湯機が大ホールは故障、小ホールには無い ・大ホール楽屋エリアに仮設電源盤があると便利 ・小ホール楽屋が客席フロア横にあり、ケータリングを展開しにくい ・小ホールの楽屋廊下にコンセントが無い ・ITV がない。 	 <p>小ホール楽屋</p>
客席	<p>○大ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・催事規模に合わせて客席数を変動できるとよい ・オーケストラピットと座席は可動式が良い ・客席座席幅は横に広くどの位置でも見やすく適切 <p>○小ホール</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平土間にパイプ椅子を設置するため会議や研修には使いやすいが公演には不適切。有料公演が難しい 	 <p>大ホール客席</p>  <p>小ホール客席</p>
ホワイエ	<ul style="list-style-type: none"> ・面積は適切 ・ホワイエ備品倉庫があるとよい ・大ホールホワイエには主催者控室があると便利 ・大ホールの運営事務所への行き来のため、客用入場口の他に主催者用の出入り口があると便利 	 <p>小ホールホワイエ</p>
トイレ	<ul style="list-style-type: none"> ・男女ともおむつ替えスペースやチャイルドシートがなく、大ホールではホール外を、小ホールでは多機能トイレを案内している ・大ホールに多機能トイレが無い ・大ホール 1 階ロビーにトイレが無く不便 ・大ホールでは休憩時間や集客によっては女子トイレ待機行列で開演に間に合わないことがある ・洋式トイレの希望が多い 	 <p>多機能トイレ</p>  <p>小ホールトイレ(和式)</p>
備品庫	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノ庫以外で、楽器庫があるとよい ・テーブルイスや機器を入れる倉庫が必要 	 <p>大ホールピアノ庫</p>

<p>事務室</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・舞台スタッフ数は大ホール 3 名、小ホール 2 名が適正と思われる ・舞台スタッフが大小ホールのどちらにもすぐ対応できる控室があるとよい 	
<p>建築・ 設備全般</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・バリアフリー対応 ・使い勝手に沿った設備 ・現在は一括空調だが、個別空調があると良い ・老朽化のため換気が不十分で、特にトイレでは匂いがこもりやすい ・外壁の防水処理が弱く、横殴りの雨の場合雨漏りを起こす ・地下水が常に流れている(くみ上げポンプが常に起動) ・エントランスのタイルは滑り止め加工が無く、雨や雪の日に滑りやすい ・2027年3月31日までに低濃度 PCB 廃棄物の処理が必要(高圧電気設備) ・大ホールは多くの設備でメンテナンス性が悪い <ul style="list-style-type: none"> ◎照明設備:一部吊り天井内に入らないと交換できない危険個所有 ◎消防設備:排煙設備、火災報知設備にて天井裏や高所箇所等点検にあたり危険な箇所がある ◎電気設備:配線の多くが埋め込み配線であり、絶縁不良等が発生しても修繕が難しく、新たに引き直す等の対応が必要 ◎上下水設備:点検口やドレン口箇所が少なく水詰まり対応が難しい ・大ホール楽屋シャワー男子側は配管詰まりのため給水不足 	 <p>小ホールトイレ</p>  <p>外壁</p>  <p>エントランスタイル</p>  <p>大ホール楽屋シャワー</p>
<p>その他</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット設備 ・防音の練習室 ・開場時間前に飲食や休憩ができるスペース 	 <p>共用部</p>

赤文字：運営やまちづくりなど、ソフト的要素を含む内容

青文字：施設・設備に関する内容

(3) 利用状況調査および利用者意向の整理

項目	課題・求められる役割・機能
利用状況 自主事業の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・大ホールの適正席数の検討 ・稼働の低い諸室の残存可否の検討 ・継続して鑑賞事業を実施できる環境の整備
アンケート、ヒアリング、 ワークショップ、 オープンハウス	<ul style="list-style-type: none"> ・観たい、参加したいと思える事業の実施 ・市民のニーズに沿った事業展開(主に鑑賞事業) ・プロの公演に対応した大ホール ・駐車場の確保 ・アクセスしやすい立地 ・バリアフリー ・防音の練習室 ・文化芸術や社会教育活動の拠点となる ・フリースペース ・市民が憩えるサードプレイス ・日常的な賑わいが生まれる ・商業施設との複合化 ・小山らしい施設 ・地元企業との連携 ・Wi-Fi等通信環境 ・施設を利用するきっかけづくり

赤文字：運営やまちづくりなど、ソフト的要素を含む内容

青文字：施設・設備に関する内容

第2章 導入機能及び規模の検討

1 現中央市民会館の機能及び規模の検討

市民意見聴取では、大ホールについては現状以上の規模とし、より多くの興行や公演が行われることを期待する声が多くみられた。一方、中小ホールで十分だとする声もあり、意見が分かれた。

現状以上の規模を望む意見は興行が多く開催されることを期待されているが、プロモーターヒアリングでは「年数回程度であれば利用する」といった声が聞かれたことから、興行利用が得られる機会は限定的であると推察される。また、現在利用が多く、また小山らしい文化の象徴でもあるハンドベルをはじめ、合唱、オペラなどクラシック音楽の利用には大規模ホールは適さないことや、クラシック音楽以外にも市民の発表に適正な規模を考慮し、大ホールは現状同等かそれ以下の客席数とする方向で検討する。

大ホールの規模に合わせ、小ホールはより小さい規模の発表等に利用できるものとする。客席は音楽利用時の音響性能を担保できるならば、より多目的に使用できる平土間可動席が望ましい。

現在の中央公民館機能については、基本的に同じ機能を引き継ぐが、会議室や音楽室が大きい部屋しかなく、少人数や個人の利用に適さない点を考慮し、小規模な会議室や防音の練習室・スタジオ等を設ける方向で検討する。なお、会議・研修・展示会等のために利用したいという企業等のニーズを考慮し、より多くの方々・団体が利用できるような施設として位置付けることについても検討が必要と考えられる。

現在の図書館小山分館機能については、面積は現状より拡張し、ニーズの高い学習室の拡大を図る。また、中央図書館との役割分担を踏まえ、蔵書及び配架に個性を持たせたり、予約本を仕事帰りに引き取れたりようにするなど、小山駅周辺に設置されるメリットを活かしたあり方を検討する。

2 新たに付加する機能及び規模の検討

中央市民会館はロビーが狭く、目的をもって訪れた人のための施設という特性を有しているが、立地環境や来館者の増加を鑑み、ロビー等の共用部をより広く設け、特に用事がなくても訪れて時間を過ごしたり、電車を待つ間などに友人と会話できたりする空間を設けられるようにする。加えて、市内で盛んに活動が行われ、中央市民会館にも楽器が置かれているハンドベルの活動促進のための機能や、これからの学びに合わせたDIYや工芸、3Dプリントなどのさまざまなものづくりに対応する機能、市民参加を促進するためのサポーター室等についても追加を検討する。

また、東日本大震災において小山駅周辺に大勢の帰宅困難者が生じたことを鑑み、前述のロビー等を一時避難できる空間としても活用することを想定する。これに合わせ、防災備蓄倉庫の整備についても検討する。

これらの機能付加について検討する一方、公共施設の総量抑制を図るため、市内の他の施設との集約・複合化の可能性についても検討する。

3 民間施設についての検討

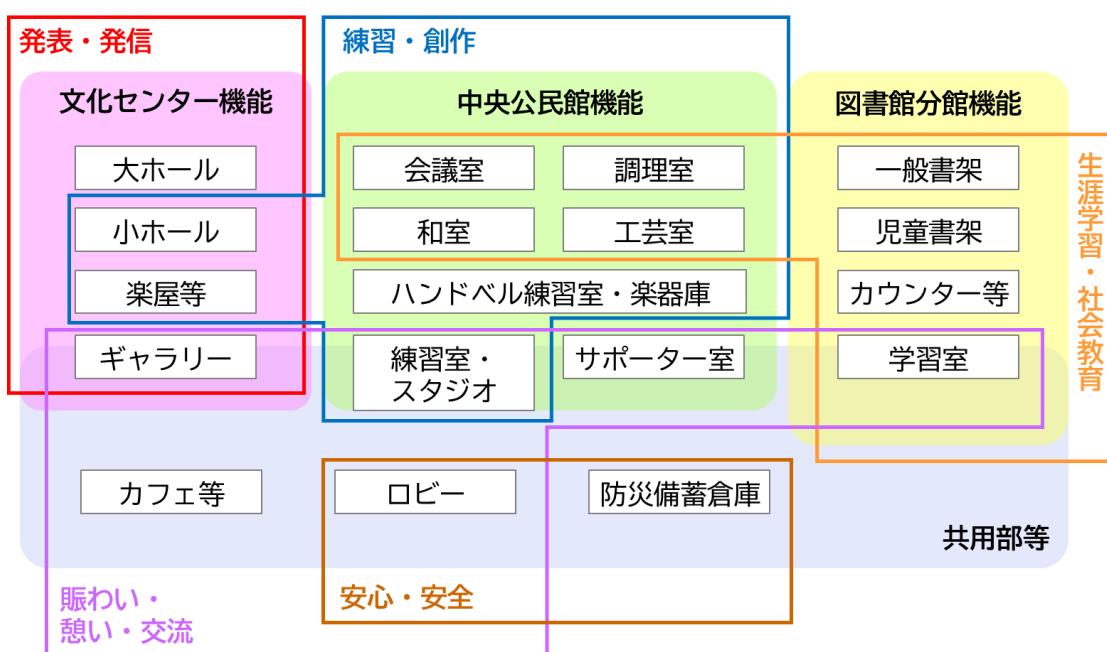
建設予定地によって設置可能性及び規模・機能が変わるが、カフェや物販施設等の賑わいづくりや滞在しやすさに寄与する民間施設の併設についても検討する。

4 新たな市民会館の機能連携イメージ

前掲した機能と、ここで行われる活動などをイメージ図に表すと、次のとおりとなる。

大きく「文化センター機能」「中央公民館機能」「図書館分室機能」「共用部等」に分けているが、楽屋等を会議室に使ったり、会議室を楽屋等に使ったりといった、多用途に使われることを想定している。

また、学習室は声を出してグループ学習ができる空間と静かに学習できる空間に分け、グループ学習のスペースは共用部に近接するなど、賑わいや交流を生む場としても機能することを期待している。



第3章 事業化に向けた検討

1 想定される事業手法

(1) 従来手法と官民連携手法

公共施設の整備手法は、自治体が設計、施工、維持管理、運営をそれぞれの仕様を定めて発注する「従来手法」と、自治体と民間事業者が適切な役割分担と連携のもとで事業を推進する「官民連携手法」に大別される。官民連携型は PPP (Public Private Partnership) と呼ばれ、PFI 法に基づいた PFI 事業から、DBO、指定管理者制度などさまざまな手法を内包している。従来手法が仕様に基づく発注であることに対し、官民連携手法 (PPP) は基本的に性能発注により行われ、契約期間も複数年にわたるものが多い。

事業手法はあくまで、事業実現のための手段であることから、事業ごとにメリット、課題を明らかにしたうえで、適切な事業手法を選択することが必要となる。

(2) 整備手法

本業務において想定する官民連携の整備手法は次のとおりである。

官民連携手法	概要	実施主体				
		調達金	設計	施工	管維持	運営
DB (Design-Build)	施設の設計、施工を一括して性能発注する手法。	市	民間事業者 (JV)		指定管理者	
DBM (Design-Build-Maintenance)	施設の設計、施工、維持管理を一括して性能発注する手法。	市	民間事業者 (SPC、JV 等)			指定管理者
DBO (Design-Build-Operate)	施設の設計、施工、維持管理、運営を一括して性能発注する手法。民間事業者が指定管理者となる。	市	民間事業者 (SPC、JV 等)			
PFI【BTM】 (Build-Transfer-Maintenance)	施設の設計、施工、維持管理を一括して性能発注する手法であり、民間が資金調達を行う。	民間事業者 (SPC)			指定管理者	
PFI【BTO】 (Build-Transfer-Operate)	施設の設計、施工、維持管理、運営を一括して性能発注する手法であり、民間が資金調達を行う。	民間事業者 (SPC)				
ECI (Early Contractor Involvement)	施設の設計段階における技術協力を受けたのち、実施設計完了後に施工を発注する手法。	市	設計者	民間事業者	指定管理者	
PFI【BTコンセッション】	設計・施工・運営を一括して性能発注する手法。民間が資金調達し、設計・施工と併せて付加価値投資を行う。運営では運営権を設定し自由な運営と付加価値投資の回収を行う。	民間事業者 (SPC)				

(3) 整備手法ごとの主な事例

1) 山口産業交流拠点施設 KDDI 維新ホール(2021 年／新設・PPP)

約 2,000 席のホール、創業支援施設等を有する施設。新山口駅前の大規模遊休地を活用し、公共施設の整備、管理運営、余剰地における民間収益事業等を一体的に実施した。

民間収益施設用地には定期借地権を設定し、公共施設内テナントは有償貸付を行うことで、事業期間中に収入を得ている。

2) 安城市中心市街地拠点施設アンフォーレ(2017 年／新設・PFI)

安城市が中心市街地の旧病院跡地を取得し、公共施設（図書館、多目的ホール、自由提案施設等）の整備等を行う PFI 事業(BTO)と、定期借地による民間施設(店舗、駐車場)整備等を行う民間収益事業とを一体的に募集した。

市は施設整備費、維持管理費、駐車場使用料を支払う一方で、自由提案施設の貸付料、民間施設の借地料を得ることで公共負担を軽減させた。

3) スターツおおたかの森ホール(2014 年／新設・PPP)

流山おおたかの森駅に隣接する市有地の PPP による開発プロジェクト。マンション建設用地との等価交換により約 500 席のホールを整備した。商業施設・ホテル部分は定期借地権としたが、市が要望するバンケット付きホテルを設置すればホテルの地代が 10 年間減免される与件とし、シティホテルの誘致を実現した。

4) J:COM ホルトホール大分(2013 年／新設・PPP)

大分文化会館をはじめとする各公共施設の老朽化対策として、文化、教育・情報、産業、福祉・健康、防災、交流、賑わいなどの機能を備えた延床面積 36,000 m²を超える大型複合文化交流施設を、大分駅前に DBO 方式にて整備。民間収益施設(銀行、カフェ等)は独立採算型とすることで公共負担を軽減させた。

2 事業手法ごとの課題整理

前項に整理した手法について、本事業におけるメリットと課題は次のとおりである。

手法	メリット	課題
全手法共通	<ul style="list-style-type: none"> プロセスごとの入札に係る時間の短縮や不落リスクの回避ができ、工期が短縮できる可能性がある。 事業者の特許やノウハウを活かすことで工期の短縮や事業費の効率化が図られる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 性能発注であるため、自治体や市民の具体的な要望を反映しながら設計を進めることは難しい。 近年、工事費の高騰が著しいため、度重なる増額交渉をせざるを得なくなり、官民双方に負担が大きい。
DB	<ul style="list-style-type: none"> 起債により事業費の平準化が可能。 事業期間が短く、参入しやすい可能性がある。 	(全手法共通の課題に同じ)
DBM	<ul style="list-style-type: none"> 起債により事業費の平準化が可能。 運営の収支リスクを回避できるため参入しやすい可能性がある。 運営は別発注となるため、指定管理者に求めるスキームによっては、市民参加による運営が可能。 維持管理者の意見を設計に反映できる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営に密接な維持管理(ピアノ点検、日常清掃、警備など)と、その他の維持管理業務(設備保守点検など)との業務の分岐点、リスク分担を明確に定めることが難しい。 事業者と指定管理者それぞれ及び二者間の調整の手間が増える。
DBO	<ul style="list-style-type: none"> 起債により事業費の平準化が可能。 運営・維持管理が一体的に行われ、効率的な運営の可能性がある。 維持管理・運営者の意見を設計に反映できる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 開館数年前の事業者公募の段階で運営や自主事業の要求水準を定める必要があり、さらに10～15年程度の事業期間中はあまり水準を変更しないため、文化芸術の潮流の変化、地域課題の変化に対応しにくい。 運営の収支リスクを事業者が有するなかで市民参画を行うことは難しい。事業範囲から切り離して市と市民参加組織で取り組む範囲を定めるなどの対応が必要。
PFI【BTM】	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が資金調達し、割賦払いにより事業費の平準化が可能。 運営・維持管理が一体的に行われ、効率的な運営の可能性がある。 維持管理者の意見を設計に反映できる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営に密接な維持管理(ピアノ点検、日常清掃、警備など)と、その他の維持管理業務(設備保守点検など)との業務の分岐点、リスク分担を明確に定めることが難しい。 事業者と指定管理者それぞれ及び二者間の調整の手間が増える。
PFI【BTO】	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が資金調達し、割賦払いにより事業費の平準化が可能。 運営・維持管理が一体的に行われ、効率的な運営の可能性がある。 維持管理・運営者の意見を設計に反映できる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 運営の収支リスクを事業者が有するなかで市民参画を行うことは難しい。事業範囲から切り離して市と市民参加組織で取り組む範囲を定めるなどの対応が必要。
PFI【BTコンセッション】	<ul style="list-style-type: none"> 事業者が資金調達し、割賦払いにより事業費の平準化が可能。 運営の自由裁量範囲が拡大し、サービスが向上できる可能性がある。 維持管理・運営者の意見を設計に反映できる可能性がある。 整備時に付加価値投資を行い、運営期間に回収できることで、BTOより高い効果が得られる可能性がある。 	<ul style="list-style-type: none"> BTOとの違いは付加価値投資の有効性であるため、賑わい施設などの付加価値投資の可能性が低い場合は成立しない。 使用料を高く設定できる性質の施設ではないため、運営権料を得ることは難しい。 裁量が広がる分、リスクも増えるため民間事業者側も応募に慎重になる可能性がある。

第4章 今後の検討に向けて

今回のあり方検討においては、より多く、より幅広く市民の意見を聞くことを重視した。

そのうえで利用状況分析や運営者、利用者の意見などを踏まえて、新たな市民会館の方向性がある程度導いたところである。

次のプロセスは基本構想、基本計画となる。現在検討中の建設予定地が決定し、立地条件が明らかになることで付加される機能、民間施設の設置可能性等を踏まえて、施設の全体像をよりクリアにしていくこととなる。

そのほか、基本構想・基本計画に向けての留意事項は次のとおりである。

・大・小ホールの席数、舞台サイズ等の明確化

ここで重視する事業、活動について検討を深め、ホールの規模、機能について具体的に明らかにする。

・図書館分館の性格づけ

貸出・返却で一時的に訪れるだけでなく、一定時間滞在して資料との出会いを生むことができるよう、蔵書・配架の方針について具体化する。

・市民参加の推進に向けた検討

市民ワークショップでの熱意ある議論を継続し、他の駅周辺まちづくりにおける市民参加とも連携して、市民が親しみやすく、小山中で暮らす楽しみや刺激を高められる施設及び運営のあり方を検討する。

・建設予定地の決定

候補地の検討、交渉等を進め、建設予定地を明らかにする。

建設予定地の特性に合わせ、付帯機能や集約・複合機能についても検討する。